

Ⅲ 青年編

Ⅲ-1 属性

(1) 地域別

	備前県民局	備中県民局	美作県民局	合計
回答数(人)	484	392	88	964
割合(%)	50.2	40.7	9.1	100.0

(2) 性別＜問1＞

	男性	女性	どちらとも言えない	答えたくない	無回答
回答数(人)	393	557	5	5	4
割合(%)	40.8	57.8	0.5	0.5	0.4

(3) 年齢＜問2＞

	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	無回答
回答数(人)	47	124	158	315	315	5
割合(%)	4.9	12.9	16.4	32.7	32.7	0.5

(4) 同居している人＜問3＞（複数回答）

	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	配偶者	自分の子	その他の人	同居家族はいない	無回答
回答数(人)	297	357	183	96	470	416	52	97	2
割合(%)	30.8	37.0	19.0	10.0	48.8	43.2	5.4	10.1	0.2

Ⅲ-2 調査結果

1 就労形態について

問4 あなたの主な職業を教えてください。《○は1つ》

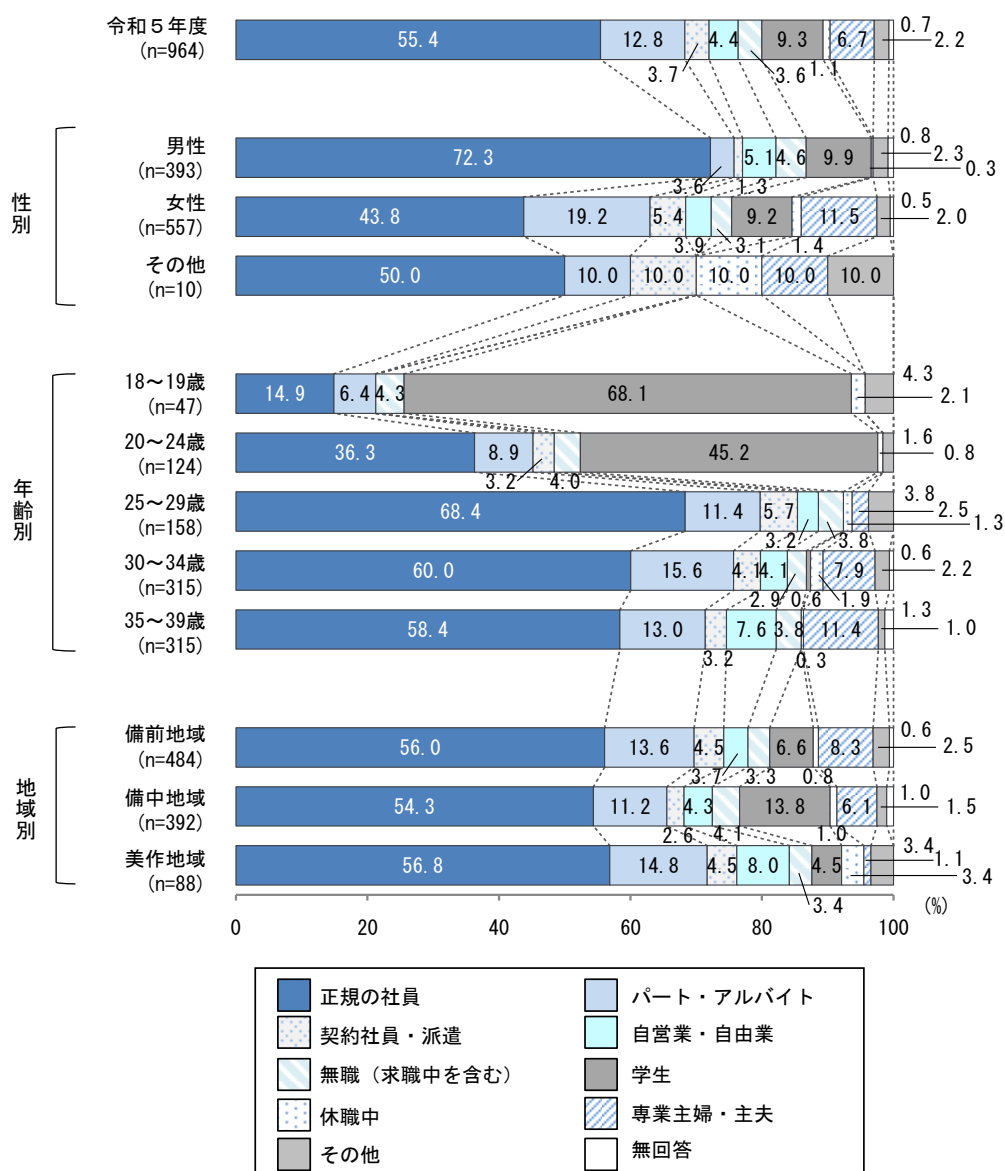
現在の就労形態について、「正規の社員」との回答が55.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」(12.8%)、「学生」(9.3%)、「専業主婦・主夫」(6.7%)などの順となっている。

性別にみると、「正規の社員」との回答は男性(72.3%)が女性(43.8%)を28.5ポイント上回っている。また、「パート・アルバイト」との回答は女性(19.2%)が男性(3.6%)を15.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「学生」との回答が約7割、20～24歳は「正規の社員」が3割台半ば、「学生」が4割台半ば、25～29歳は「正規の社員」との回答が約7割と高くなっている。

地域別にみると、備中地域は「学生」との回答が1割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 就労形態について（全体・性別・年齢別・地域別）】



2 家庭での生活について

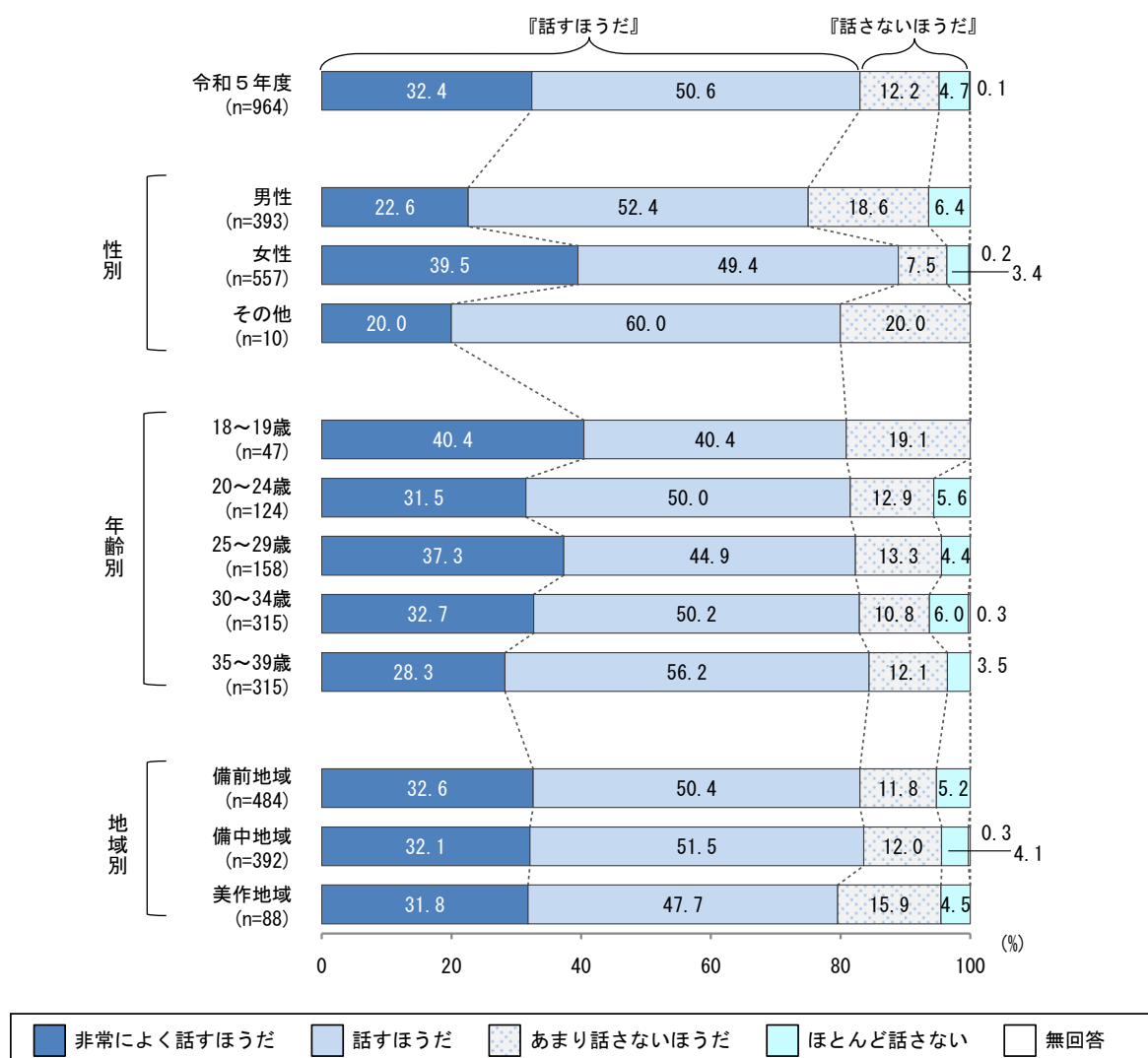
問5 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。《○は1つ》

家庭での会話頻度について、『話すほうだ』（「非常によく話すほうだ」と「話すほうだ」を合わせた割合）との回答が83.0%、『話さないほうだ』（「ほとんど話さない」と「あまり話さないほうだ」を合わせた割合）との回答が16.9%となっている。

性別にみると、『話すほうだ』との回答は女性（88.9%）が男性（75.0%）を13.9ポイント上回っている。

年齢別、地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 家庭での会話頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】



（問５で「３. あまり話さないほうだ」または「４. ほとんど話さない」に○がついた人だけお答えください。）

問５－１ あなたが家で話さないのは、なぜですか。《○はいくつでも》

会話をしない理由について、「面倒くさい」との回答が 31.3%と最も高く、次いで「一人暮らしだから」(30.1%)、「話題がない」(26.4%)などの順となっている。

性別にみると、「面倒くさい」との回答は男性(35.7%)が女性(24.6%)を 11.1 ポイント上回っている。また、「話題がない」との回答も男性(30.6%)が女性(19.7%)を 10.9 ポイント上回っている。対して、「一人暮らしだから」との回答は女性(39.3%)が男性(22.4%)を 16.9 ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24 歳で「一人暮らしだから」との回答が 5 割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、備中地域は「面倒くさい」との回答が 2 割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 会話をしない理由（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	気持ちを分かってもらえない	面倒くさい	頼りない	話題がない	すぐに怒る、叱る	忙しいそう	あなたの話を聞こうとしない	話しかけてこない	一人暮らしだから	その他	無回答
	令和5年度	163	11.7	31.3	3.7	26.4	8.6	7.4	9.2	9.2	30.1	14.1	3.1
性別	男性	98	8.2	35.7	4.1	30.6	10.2	7.1	10.2	11.2	22.4	11.2	2.0
	女性	61	18.0	24.6	3.3	19.7	4.9	8.2	8.2	6.6	39.3	19.7	4.9
	その他	2	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-
年齢別	18～19歳	9	11.1	11.1	-	33.3	-	11.1	-	-	11.1	22.2	22.2
	20～24歳	23	8.7	26.1	4.3	13.0	4.3	-	4.3	8.7	56.5	4.3	4.3
	25～29歳	28	10.7	32.1	7.1	32.1	3.6	7.1	3.6	14.3	21.4	17.9	-
	30～34歳	53	13.2	35.8	3.8	26.4	13.2	7.5	13.2	9.4	28.3	17.0	1.9
	35～39歳	49	12.2	32.7	2.0	28.6	10.2	10.2	12.2	8.2	26.5	12.2	2.0
地域別	備前地域	82	14.6	34.1	3.7	24.4	8.5	4.9	7.3	8.5	30.5	15.9	1.2
	備中地域	63	11.1	25.4	4.8	28.6	11.1	9.5	12.7	9.5	30.2	12.7	4.8
	美作地域	18	-	38.9	-	27.8	-	11.1	5.6	11.1	27.8	11.1	5.6

問6 あなたが家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことはありますか。

《〇はいくつでも》

家族間での困りごと・嫌なことについて、「家の中が散らかっている」が14.4%、次いで「家族の世話が大変である」(10.7%)、「家族との団らんや会話が少ない」(5.1%)などの順となっている。また、「特にない」との回答が64.3%と高くなっている。

性別にみると、「家族の世話が大変である」との回答は女性(13.6%)が男性(6.4%)を7.2ポイント、「家の中が散らかっている」との回答も女性(17.2%)が男性(10.4%)を6.8ポイント上回っている。また、「特にない」との回答は男性(72.3%)が女性(58.5%)を13.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家族の世話が大変である」との回答は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。また、「特にない」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 家族間での困りごと・嫌なこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	家族との団らんや会話が少ない	親と自分の仲が悪い	親同士の仲が悪い	自分と兄弟姉妹の仲が悪い	家には落ち着いて過ごせる環境がない	家族の世が大変である	家の中が散らかっている	食事を着る服がないときがある	家にお金がなく、家族から暴力や暴言などを受けている	家族の中に問題行動を起こす人がいる	その他	特にない	無回答
	令和5年度	964	5.1	2.4	2.5	2.4	3.1	10.7	14.4	2.0	0.7	3.4	3.7	64.3	2.5
性別	男性	393	4.1	2.5	2.5	2.5	3.8	6.4	10.4	3.1	—	3.3	2.5	72.3	2.0
	女性	557	5.6	2.2	2.5	2.2	2.7	13.6	17.2	1.1	1.3	3.6	4.7	58.5	2.9
	その他	10	20.0	—	—	—	—	20.0	20.0	10.0	—	—	—	70.0	—
年齢別	18～19歳	47	2.1	—	2.1	—	4.3	—	10.6	4.3	—	8.5	2.1	76.6	—
	20～24歳	124	4.8	—	2.4	3.2	0.8	4.0	5.6	0.8	0.8	4.0	1.6	76.6	4.0
	25～29歳	158	3.2	1.9	2.5	4.4	2.5	6.3	10.8	4.4	—	3.8	3.2	68.4	3.2
	30～34歳	315	5.7	3.2	2.5	2.5	5.1	12.1	15.9	1.6	1.0	2.2	3.2	64.8	1.3
	35～39歳	315	6.0	3.2	2.5	1.3	2.2	15.9	18.7	1.3	1.0	3.5	5.7	54.9	3.2
地域別	備前地域	484	5.2	2.5	2.3	2.9	2.9	12.0	14.5	2.1	1.0	2.9	2.5	63.0	2.3
	備中地域	392	4.3	2.0	2.6	1.5	2.6	8.9	13.8	2.0	0.5	3.8	4.6	66.8	3.1
	美作地域	88	8.0	3.4	3.4	3.4	6.8	11.4	17.0	1.1	—	4.5	6.8	60.2	1.1

問7 あなたが普段自宅にいるときによくしていることを教えてください。

《〇はいくつでも》

普段自宅をよくすることについて、「動画サイトを見る」との回答が54.6%と最も高く、次いで「家事をする」(52.8%)、「テレビを見る」(51.3%)などの順となっている。

性別にみると、「家事をする」との回答は女性(66.6%)が男性(33.6%)を33.0ポイント、「料理をする」との回答は女性(46.9%)が男性(16.8%)を30.1ポイント、「SNSでやり取りする」との回答は女性(41.3%)が男性(19.3%)を22.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家事をする」「育児、子どもと遊ぶ」「仕事をする」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。また、「趣味を楽しむ」「SNSでやり取りする」「動画サイトを見る」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備中地域は「育児、子どもと遊ぶ」との回答が約3割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 普段自宅をよくすること（全体・性別・年齢別・地域別）】

		(%)													
	全体	のんびりする	何もしないでべりする、一緒に遊ぶ	家族とおしゃべりする	家事をする	子どもと遊ぶ	家族の世話を	勉強する	仕事をする	趣味を楽しむ	料理をする	散歩する	運動をする	ペットの世話を	テレビを見る
性別	令和5年度	964	35.0	41.3	52.8	36.2	14.8	11.6	12.1	42.5	34.6	12.1	12.7	17.3	51.3
	男性	393	31.0	35.4	33.6	30.0	5.1	13.2	11.7	49.1	16.8	8.9	16.0	14.8	44.8
	女性	557	37.7	45.6	66.6	40.8	21.9	10.8	12.4	38.1	46.9	13.8	9.9	19.4	55.8
	その他	10	50.0	50.0	40.0	30.0	10.0	-	10.0	20.0	40.0	30.0	20.0	10.0	60.0
年齢別	18～19歳	47	46.8	42.6	17.0	-	2.1	31.9	4.3	53.2	10.6	8.5	12.8	17.0	51.1
	20～24歳	124	50.8	29.0	23.4	3.2	1.6	29.8	5.6	53.2	17.7	12.9	11.3	18.5	43.5
	25～29歳	158	36.1	40.5	48.7	24.1	8.9	5.7	10.8	47.5	38.0	12.7	9.5	23.4	46.8
	30～34歳	315	32.4	44.4	61.9	44.8	17.5	8.9	12.7	40.6	37.8	11.1	15.2	15.2	55.6
	35～39歳	315	29.2	43.5	62.9	52.7	22.5	7.0	15.9	36.2	40.0	13.0	11.7	15.6	52.7
地域別	備前地域	484	32.0	44.0	55.6	40.1	16.5	11.6	12.6	41.3	35.1	12.2	12.4	15.9	52.5
	備中地域	392	39.3	39.8	50.5	30.9	14.3	12.8	10.5	44.6	34.9	12.5	13.5	18.9	50.8
	美作地域	88	31.8	33.0	47.7	38.6	8.0	6.8	17.0	39.8	30.7	10.2	10.2	18.2	47.7
	全体	読書をする	雑誌を見る	マンガや新聞を読む	音楽を聴く	ラジオやゲーム機でゲームをする	ゲームをする	ネットをする	やり取りする	SNSを見る	ニュースなどを見る	動画サイトを見る	その他	特にな	無回答
性別	令和5年度	964	13.1	28.0	1.3	20.0	24.8	25.8	32.3	20.3	54.6	1.3	0.7	0.7	
	男性	393	12.2	28.2	2.0	16.3	33.8	34.1	19.3	19.3	58.8	0.8	0.8	1.0	
	女性	557	13.6	27.5	0.9	22.8	18.5	19.9	41.3	20.8	51.7	1.6	0.5	0.5	
	その他	10	20.0	30.0	-	10.0	20.0	20.0	50.0	30.0	50.0	10.0	10.0	-	
年齢別	18～19歳	47	14.9	19.1	-	36.2	44.7	46.8	51.1	14.9	70.2	-	-	-	
	20～24歳	124	15.3	29.0	2.4	37.1	27.4	30.6	46.8	8.9	67.7	1.6	0.8	1.6	
	25～29歳	158	6.3	28.5	-	20.9	30.4	33.5	43.0	12.7	64.6	1.3	-	0.6	
	30～34歳	315	13.3	28.9	1.3	15.9	21.3	21.6	28.3	24.4	52.7	1.9	1.0	0.6	
	35～39歳	315	14.9	27.9	1.9	14.6	21.0	20.6	22.5	25.4	43.5	1.0	0.6	0.6	
地域別	備前地域	484	12.4	26.0	1.0	15.9	22.1	22.7	31.0	20.9	53.1	1.2	0.4	0.6	
	備中地域	392	13.8	30.9	1.3	25.0	26.8	28.3	33.9	19.4	56.9	1.8	1.0	0.8	
	美作地域	88	13.6	26.1	3.4	20.5	30.7	31.8	31.8	21.6	52.3	-	1.1	1.1	

問8 あなたは普段どのくらい外出しますか。《○は1つ》

外出頻度について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」との回答が72.9%と最も高く、次いで「仕事や学校で週3～4日外出する」(9.2%)の順となっている。

外出頻度が低い状態の回答者についてみると、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(2.0%)、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニエンスストアなどには出かける」(4.4%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(1.2%)、「自室からほとんど出ない」(0.1%)となっている。(以下、本編ではこれらの者を「外出頻度の低い回答者」と総称する。)

年齢別、地域別でみると、大きな差はみられない。

【図表 外出頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週3～4日外出する	遊びなどで頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	ふだんは家にいるが、近所のコンビニエンスストアなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	答えたくない	無回答
性別	令和5年度	964	72.9	9.2	4.0	3.7	2.0	4.4	1.2	0.1	1.6	0.8
	男性	393	78.6	8.4	3.1	2.0	1.8	2.3	1.3	—	1.8	0.8
	女性	557	69.5	9.9	4.7	4.8	2.2	5.6	1.3	0.2	1.1	0.9
	その他	10	50.0	—	10.0	—	—	20.0	—	—	20.0	—
年齢別	18～19歳	47	78.7	4.3	6.4	2.1	—	2.1	4.3	—	2.1	—
	20～24歳	124	70.2	13.7	6.5	2.4	1.6	2.4	0.8	—	0.8	1.6
	25～29歳	158	74.7	8.9	3.2	3.8	—	5.7	1.9	—	0.6	1.3
	30～34歳	315	70.5	7.9	4.8	4.1	3.8	4.4	1.0	—	2.9	0.6
	35～39歳	315	75.6	9.8	1.9	4.1	1.6	4.4	1.0	0.3	0.6	0.6
地域別	備前地域	484	74.4	8.7	3.7	3.5	2.7	3.7	1.0	0.2	1.4	0.6
	備中地域	392	70.9	10.7	4.3	4.3	1.0	4.6	1.3	—	1.5	1.3
	美作地域	88	73.9	5.7	4.5	2.3	2.3	6.8	2.3	—	2.3	—

(問8で「5～8」に○がついた人だけ、問8-1、問8-2にお答えください。)

問8-1 あなたが、その状況になってどれくらい経ちますか。《○は1つ》

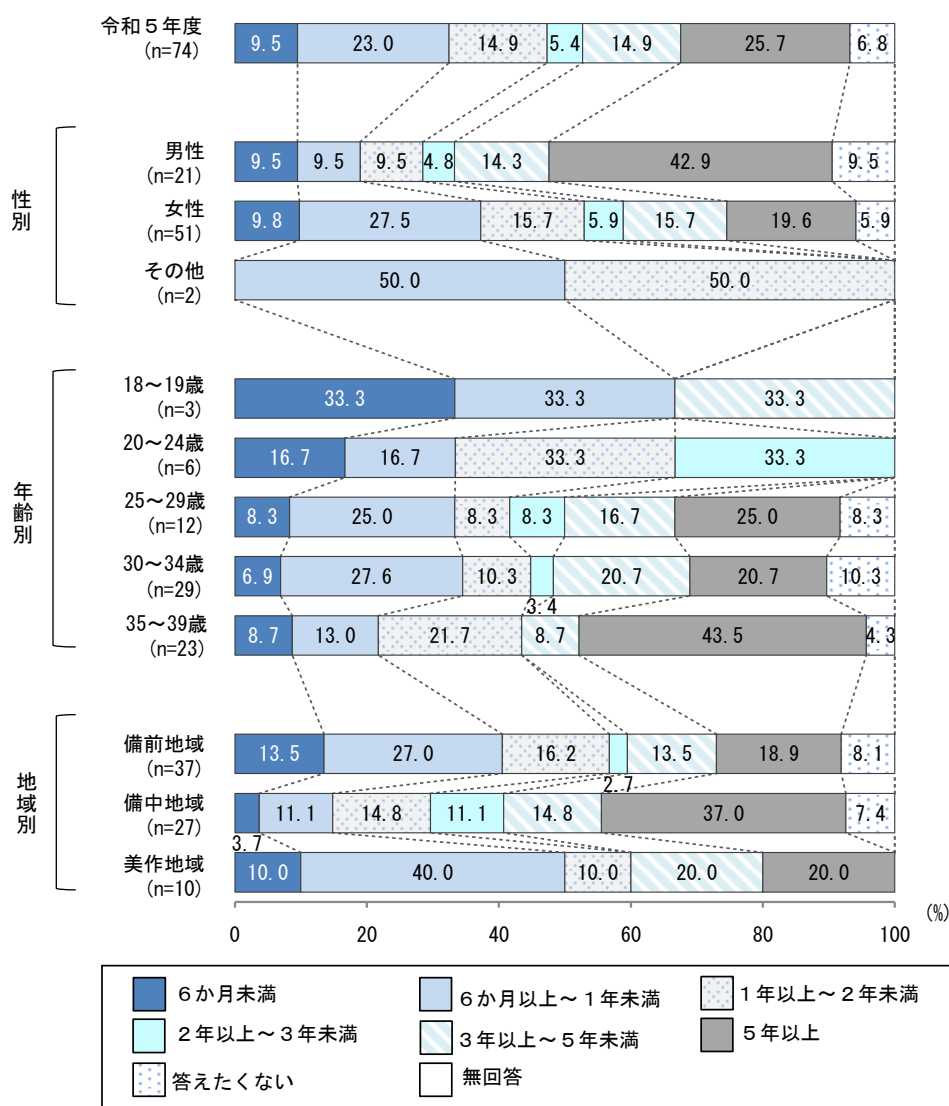
外出頻度の低い回答者が、現在の外出状況になってからの期間をみると、「5年以上」との回答が25.7%と最も高く、次いで「6か月以上～1年未満」(23.0%)、「1年以上～2年未満」「3年以上～5年未満」(ともに14.9%)などの順となっている。

性別にみると、「5年以上」との回答は男性(42.9%)が女性(19.6%)を23.3ポイント上回っている。また、「6か月以上1年未満」との回答は女性(27.5%)が男性(9.5%)を18.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、35～39歳は、「5年以上」との回答が4割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、備中地域で、「5年以上」との回答が約4割と高くなっている。

【図表 現在の外出状況になってからの期間(全体・性別・年齢別・地域別)】



問8-2 あなたがそのような状況になるきっかけは何でしたか。《○はいくつでも》

外出頻度の低い回答者が、現在の外出状況になったきっかけをみると、「妊娠・出産をしたこと」との回答が33.8%と最も高く、次いで「病気になったこと」「退職したこと」（ともに20.3%）などの順となっている。

性別にみると、「妊娠・出産をしたこと」との回答は女性（47.1%）のみ回答している。また、「病気になったこと」との回答は男性（33.3%）が女性（13.7%）を19.6ポイント、「退職したこと」との回答は男性（33.3%）が女性（15.7%）を17.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、30～34歳は「妊娠・出産をしたこと」との回答が4割超、35～39歳は「人間関係がうまくいかなかったこと」「退職したこと」との回答が2割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、備中地域は「病気になったこと」との回答が3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 現在の外出状況になったきっかけ（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	不登校になったこと	いかながうまく受診がなかったこと	いかながうまう活動がなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気になったこと	妊娠・出産をしたこと	退職したこと	家族の世話を担うことになったこと	その他	特にない	無回答
令和5年度	74	6.8	1.4	9.5	9.5	18.9	20.3	33.8	20.3	2.7	18.9	10.8	1.4
性別													
男性	21	9.5	4.8	19.0	19.0	28.6	33.3	—	33.3	—	23.8	14.3	—
女性	51	5.9	—	5.9	3.9	13.7	13.7	47.1	15.7	3.9	17.6	9.8	2.0
その他	2	—	—	—	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—
年齢別													
18～19歳	3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	66.7	—	—	—	—
20～24歳	6	16.7	—	—	16.7	16.7	33.3	33.3	—	—	16.7	16.7	—
25～29歳	12	8.3	—	16.7	—	25.0	25.0	41.7	—	—	16.7	8.3	—
30～34歳	29	—	—	6.9	6.9	13.8	17.2	41.4	20.7	3.4	17.2	10.3	3.4
35～39歳	23	8.7	—	8.7	13.0	26.1	21.7	26.1	26.1	4.3	26.1	13.0	—
地域別													
備前地域	37	—	2.7	8.1	5.4	13.5	10.8	35.1	18.9	—	24.3	10.8	—
備中地域	27	14.8	—	11.1	11.1	29.6	33.3	25.9	25.9	7.4	14.8	14.8	3.7
美作地域	10	10.0	—	10.0	20.0	10.0	20.0	50.0	10.0	—	10.0	—	—

3 小・中学校、高校に通っていた頃の状況

問9 あなたが小学生や中学生の時に、家庭で次のような経験をしたことはありますか。

《〇はいくつでも》

① 家庭内での勉強・生活

家庭内での勉強・生活について、「家族で一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした」との回答が68.9%と最も高く、次いで「家で勉強を見てもらった」(47.7%)、「生活に当たって必要なことはなるべく自分でできるように教えてくれた」(31.5%)などの順となっている。

性別にみると、「家族で一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした」との回答は女性(76.8%)が男性(57.8%)を19.0ポイント、「家で勉強を見てもらった」との回答は女性(49.7%)が男性(44.3%)を5.4ポイント、「家族と一緒に自然体験活動に参加した」との回答も女性(27.3%)が男性(21.9%)を5.4ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家で勉強を見てもらった」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「生活に当たって必要なことはなるべく自分でできるように教えてくれた」との回答が2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 家庭内での勉強・生活（全体・性別・年齢別・地域別）】

														(%)
														無回答
														特にない
														その他の印象的な経験
														家族と一緒に自然体験活動に参加した
														家族で一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした
														生活に当たって必要なことはなるべく自分でできるように教えてくれた
														お金の価値や使い方について教えてくれた
														家族から読書を勧められたり、読んだ本の感想を話し合ったりした
														テレビを見る時間が決められていた
														家で勉強を見てもらった
														全体
														令和5年度
性別	男性	393	44.3	16.5	7.9	26.0	29.3	57.8	21.9	2.0	17.3	0.3		
	女性	557	49.7	15.1	11.0	25.5	32.9	76.8	27.3	1.1	10.6	0.5		
	その他	10	70.0	20.0	—	50.0	50.0	50.0	10.0	—	10.0	—		
年齢別	18～19歳	47	55.3	12.8	12.8	31.9	40.4	74.5	27.7	—	12.8	—		
	20～24歳	124	54.0	12.1	10.5	36.3	30.6	79.0	21.0	1.6	7.3	0.8		
	25～29歳	158	51.9	14.6	7.6	23.4	29.7	63.3	22.2	1.3	12.0	0.6		
	30～34歳	315	47.0	16.5	7.9	22.9	34.9	72.1	29.2	1.3	12.4	0.3		
	35～39歳	315	43.2	17.5	11.4	26.0	28.6	63.8	22.9	1.9	17.1	—		
地域別	備前地域	484	47.9	15.3	9.7	24.2	31.4	68.2	27.3	1.0	14.5	—		
	備中地域	392	48.0	17.1	9.2	29.1	33.2	70.4	23.2	1.8	11.7	0.8		
	美作地域	88	45.5	11.4	10.2	22.7	25.0	65.9	18.2	2.3	13.6	1.1		

② 楽しかったこと

楽しかったことについて、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」との回答が72.9%と最も高く、次いで「学校の行事があるときは見に来てくれた」（65.9%）、「毎日家族と一緒に食事をする機会があった」（52.4%）などの順となっている。

性別にみると、全体的に女性が男性よりも割合が高く、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」との回答は約8割と最も高くなっている。

年齢別にみると、「家族と一緒に過ごすことがとても楽しいと感じた」、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「学校の行事があるときは見に来てくれた」との回答が5割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 楽しかったこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

														(%)
			全体	毎日家族と一緒に食事をする機会があった	近所の人と家族ぐるみでつきあっていた	学校の行事があるときは見に来てくれた	家族と一緒に過ごすことがとても楽しいと感じた	家族が支えてくれたり、守ってくれたりした	つらい時や悲しい時に家族が支えてくれたり、守ってくれたりした	自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした	家の手伝いをして感謝された	その他の印象的な経験	特にない	無回答
		令和5年度	964	52.4	23.3	65.9	39.5	42.1	72.9	42.9	2.5	8.7	0.4	
性別	男性	393	46.8	18.1	58.0	32.6	33.3	63.4	35.6	2.8	12.5	0.3		
	女性	557	56.2	27.3	71.8	44.5	48.3	79.5	48.1	2.3	5.9	0.5		
	その他	10	60.0	20.0	60.0	30.0	40.0	70.0	40.0	—	20.0	—		
年齢別	18～19歳	47	51.1	29.8	70.2	51.1	46.8	83.0	51.1	2.1	4.3	—		
	20～24歳	124	53.2	13.7	64.5	44.4	44.4	78.2	47.6	1.6	4.8	0.8		
	25～29歳	158	48.7	22.2	63.9	41.8	41.1	74.7	38.6	5.1	8.2	1.3		
	30～34歳	315	53.7	24.8	67.0	37.5	40.6	73.3	42.9	1.9	8.9	0.3		
	35～39歳	315	53.0	25.1	66.0	37.1	42.9	68.3	42.2	2.2	10.8	—		
地域別	備前地域	484	54.8	24.4	69.0	40.9	44.4	75.2	44.4	1.9	7.4	—		
	備中地域	392	51.0	21.9	64.0	39.5	39.8	71.7	41.8	2.8	8.4	0.8		
	美作地域	88	45.5	23.9	56.8	31.8	39.8	65.9	39.8	4.5	17.0	1.1		

③ つらかったこと

つらかったことについて、「やりたいことがあっても我慢をすることが多かった」との回答が21.6%と高く、次いで「兄弟姉妹や他の家の子と比較されることが嫌だった」(12.2%)、「自分や家族が大きな病気をしたり、事故にあったりした」(11.9%)などの順となっている。また、「特にない」との回答も47.1%と高くなっている。

性別にみると、「やりたいことがあっても我慢をすることが多かった」との回答は男性(24.4%)が女性(19.2%)を5.2ポイント上回っている。また、「特にない」との回答も男性(51.1%)が女性(44.3%)を6.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、30～34歳は「やりたいことがあっても我慢をすることが多かった」との回答が2割台半ば、25～29歳は「家に自分の居場所はないと感じていた」との回答が1割超と他の年齢区分に比べ高くなっている。

地域別にみると、美作地域は「兄弟姉妹や他の家の子と比較されることが嫌だった」が1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 つらかったこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	引越した 仲の良かった 友だちと離れた	やりたいことがあっても 我慢することが多かった	何でも自分一人で決めて、 家族に相談することは なかった	自分や家族が大きな病気を したり、事故にあったり した	家に自分の居場所は ないと感じていた	家では一人で食事する など、一人で過ごす時間 が長かった	兄弟姉妹や他の家の子と 比較されることが嫌だった	家族の世話をするのが 大変だった	親から自分の存在を否定 するようなことを言われた	その他の印象的な経験	特にない	無回答
	令和5年度	964	10.4	21.6	6.8	11.9	6.4	3.6	12.2	2.9	6.7	5.1	47.1	3.6
性別	男性	393	9.9	24.4	7.6	9.4	5.3	4.6	10.2	2.3	4.3	4.1	51.1	2.5
	女性	557	10.2	19.2	6.3	13.5	6.8	3.1	13.8	3.1	8.3	5.9	44.3	4.5
	その他	10	20.0	40.0	10.0	10.0	20.0	—	10.0	10.0	10.0	—	50.0	—
年齢別	18～19歳	47	4.3	10.6	4.3	10.6	4.3	4.3	2.1	2.1	—	2.1	66.0	2.1
	20～24歳	124	9.7	21.0	2.4	6.5	2.4	0.8	7.3	2.4	4.0	0.8	59.7	2.4
	25～29歳	158	7.0	19.6	7.6	10.1	12.0	3.8	13.3	3.8	7.0	7.0	46.8	6.3
	30～34歳	315	10.8	26.0	7.3	13.3	6.7	4.8	17.1	3.2	7.0	6.0	41.3	2.2
	35～39歳	315	13.0	20.3	7.9	13.3	5.4	3.5	10.5	2.5	8.6	5.4	45.4	4.4
地域別	備前地域	484	10.1	21.7	5.8	12.4	6.0	3.3	12.4	2.9	7.6	5.2	46.1	3.5
	備中地域	392	11.0	22.2	8.2	11.5	7.4	4.6	13.3	3.3	6.9	5.4	47.4	3.3
	美作地域	88	9.1	18.2	6.8	11.4	4.5	1.1	6.8	1.1	1.1	3.4	51.1	5.7

問 10 あなたは子どもの頃、次のような経験をしたことはありますか。《○はいくつでも》

① 自然体験

自然体験について、「海や川、雪の中で遊んだ」との回答が 72.6%と最も高く、次いで「生き物を飼った」(71.5%)、「自然の中でハイキングやキャンプをした」(50.4%)などの順となっている。

性別にみると、「自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った」との回答は女性(44.2%)が男性(36.9%)を 7.3 ポイント、「生き物を飼った」との回答は女性(74.0%)が男性(67.7%)を 6.3 ポイント上回っている。また、「特にない」との回答は男性(11.2%)が女性(4.8%)を 6.4 ポイント上回っている。

年齢別にみると、30～39 歳は「自然の中でハイキングやキャンプをした」との回答が 5 割台半ばと他の年代より高くなっている。また、18～24 歳は「自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った」との回答が約 5 割と他の年代より高くなっている。

地域別にみると、美作地域は「海や川、雪の中で遊んだ」との回答が約 8 割、「太陽が昇るところや沈むところ、夜空の星を見たりした」との回答が約 5 割と高くなっている。

【図表 自然体験（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	自然の中でハイキングやキャンプをした	太陽が昇るところや沈むところ、夜空の星を見たりした	海や川、雪の中で遊んだ	生き物を飼った	自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った	その他の印象的な自然体験	特にない	無回答
	令和5年度	964	50.4	39.2	72.6	71.5	41.4	2.1	7.6	0.7
性別	男性	393	49.4	38.4	70.0	67.7	36.9	2.8	11.2	—
	女性	557	51.9	39.9	74.3	74.0	44.2	1.6	4.8	1.3
	その他	10	30.0	30.0	70.0	70.0	50.0	—	20.0	—
年齢別	18～19歳	47	40.4	44.7	63.8	66.0	48.9	2.1	10.6	—
	20～24歳	124	38.7	41.1	73.4	69.4	51.6	2.4	5.6	1.6
	25～29歳	158	38.6	34.8	67.7	67.1	38.0	2.5	11.4	1.9
	30～34歳	315	55.6	37.1	72.7	72.4	41.9	2.5	7.3	0.6
	35～39歳	315	57.1	41.9	75.9	74.3	37.5	1.3	6.0	—
地域別	備前地域	484	51.9	37.2	71.9	70.5	42.1	1.4	7.6	0.2
	備中地域	392	49.7	39.5	71.9	71.9	41.1	3.1	7.9	1.3
	美作地域	88	45.5	48.9	79.5	75.0	38.6	1.1	5.7	1.1

② 印象的な経験

印象的な経験について、「一生懸命にやったことが認められた」との回答が 43.3%と最も高く、次いで「友達と協力して何かを作り上げた」(39.5%)、「赤ちゃんのお世話をしたり、自分より小さな子と一緒に遊んだりした」(37.2%)などの順となっている。

性別にみると、「赤ちゃんのお世話をしたり、自分より小さな子と一緒に遊んだりした」との回答は女性(42.9%)が男性(29.0%)を 13.9 ポイント、「困ったときや悲しいときに、まわりの人が助けてくれた」との回答は女性(40.4%)が男性(29.8%)を 10.6 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「困っている人を助けてお礼を言われた」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 印象的な経験（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		困っている人を助けて お礼を言われた	弱いものいじめやケンカを やめさせたり、仲直り させた	拾った交番へ届けたりした	道に落ちているゴミを 拾ったり、落とし物を 拾った	赤ちゃんのお世話を したり、自分より小さな 子と一緒に遊んだりした	友達と協力して何かを 作り上げた	一生懸命にやったことが 認められた	困ったときや悲しい ときに、まわりの人が 助けてくれた	仕事の経験を して興味 湧いた	その他の印象的な経験	特 に な い	無 回 答
	令和5年度	964	32.1	12.4	28.5	37.2	39.5	43.3	36.2	12.8	1.1	16.0	1.3
性別	男性	393	33.1	12.0	28.0	29.0	37.7	42.5	29.8	10.2	1.8	19.3	0.8
	女性	557	31.4	12.7	29.3	42.9	41.3	43.8	40.4	14.2	0.7	13.3	1.8
	その他	10	20.0	10.0	-	30.0	20.0	20.0	30.0	40.0	-	40.0	-
年齢別	18～19歳	47	42.6	17.0	44.7	57.4	55.3	55.3	57.4	17.0	-	6.4	-
	20～24歳	124	37.9	7.3	26.6	36.3	41.9	50.0	40.3	11.3	1.6	9.7	0.8
	25～29歳	158	31.6	11.4	26.6	36.7	40.5	39.2	34.8	12.0	0.6	14.6	2.5
	30～34歳	315	31.4	11.4	29.2	36.5	34.9	44.4	32.1	12.7	1.6	21.9	1.3
	35～39歳	315	28.9	15.2	27.3	35.6	40.6	40.0	36.2	13.3	1.0	14.6	1.0
地域別	備前地域	484	33.1	11.8	26.4	38.8	40.5	45.5	35.1	12.0	0.8	15.1	0.8
	備中地域	392	30.9	13.3	30.1	34.2	38.8	41.6	38.5	14.5	1.5	15.3	2.0
	美作地域	88	31.8	12.5	33.0	42.0	37.5	38.6	31.8	9.1	1.1	23.9	1.1

問 1 1 あなたは、あなたが小・中学校、高校に通学していた頃、「学校に行きたくない」と思ったことがありますか。また、その頻度について、教えてください。《○は1つ》

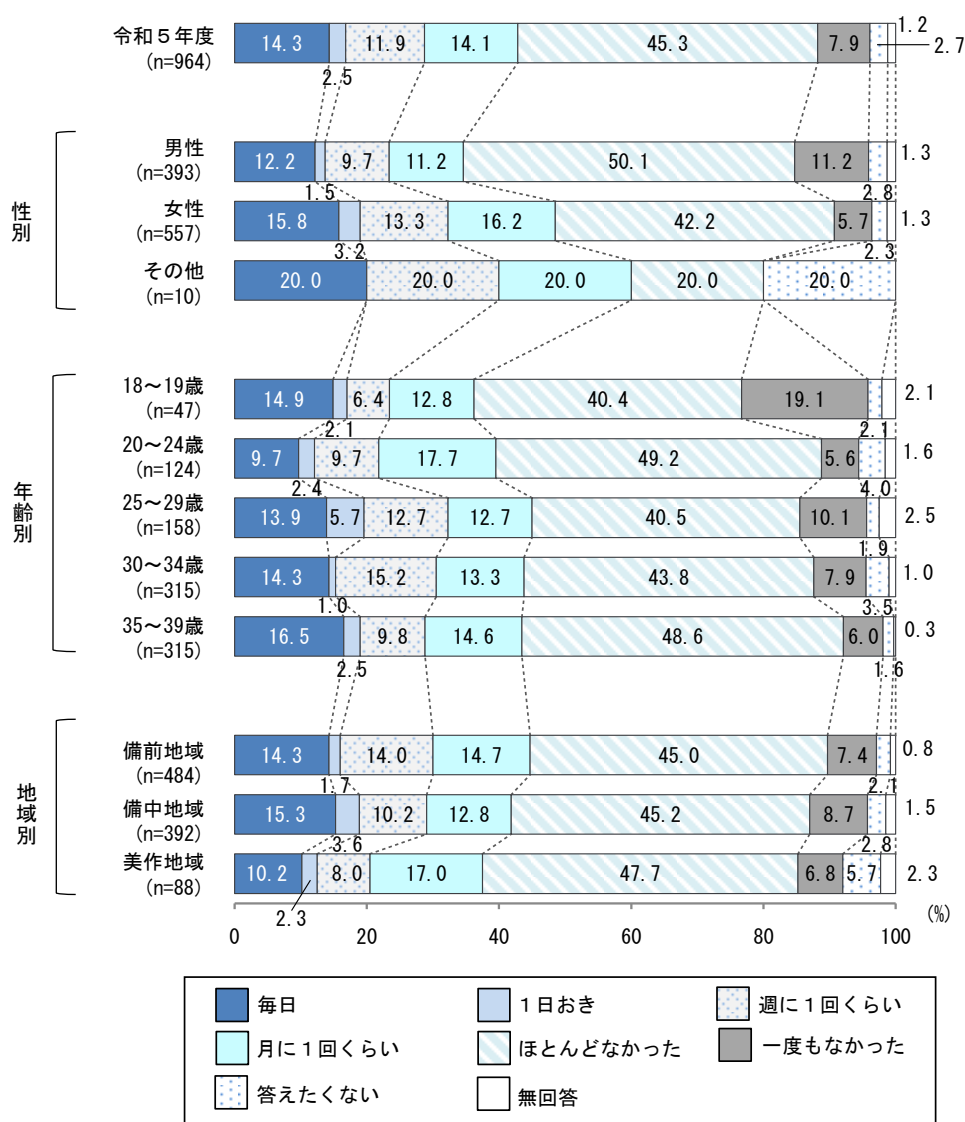
学校に行きたくないと思った頻度について、「ほとんどなかった」との回答が 45.3%と最も高く、次いで「毎日」(14.3%)、「月に1回くらい」(14.1%)などの順となっている。

性別にみると、「ほとんどなかった」との回答は男性(50.1%)が女性(42.2%)を7.9ポイント、「一度もなかった」との回答も男性(11.2%)が女性(5.7%)を5.5ポイント上回っている。また、「月に1回くらい」との回答は女性(16.2%)が男性(11.2%)を5.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「一度もなかった」との回答が約2割と高くなっている。また、20～24歳は「ほとんどなかった」との回答が約5割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 学校に行きたくないと思った頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】



(問 11 で「1～4」に○がついた人だけお答えください。)

問 11-1 あなたが、「学校に行きたくない」と思った理由は何ですか。《○はいくつでも》

学校に行きたくないと思った理由について、「友達のこと」での回答が 45.5%と最も高く、次いで「いじめや暴力のこと」(24.7%)、「授業のこと」(17.4%)などの順となっている。

性別にみると、「友達のこと」での回答は女性(54.4%)が男性(27.2%)を 27.2 ポイント上回っている。また、「成績や進学のこと」での回答は男性(19.1%)が女性(13.0%)を 6.1 ポイント上回っている。

年齢別にみると、25～29 歳は「成績や進学のこと」での回答が 2 割超、35～39 歳は「友達のこと」での回答が 5 割台半ばと高くなっている。また、20～24 歳は「いじめや暴力のこと」での回答が約 1 割と低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「いじめや暴力のこと」での回答が約 1 割、「外見や性格のこと」での回答が 1 割未満と低くなっている。また、同地域で「成績や進学のこと」、「部(クラブ)活動のこと」での回答は他の地域に比べ高くなっている。

【図表 学校に行きたくないと思った理由(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)														
		全体	友達の ことで	学校の先生 のことで	成績や進学 のことで	授業の ことで	暴力の いじめや ことで	外見や性格 のことで	恋愛の ことで	交際相手 や 愛の ことで	部 活動の ことで	家族の ことで	その他	特 に ない	答 え た く ない	無 回 答
性別	令和5年度	413	45.5	17.2	15.5	17.4	24.7	11.1	1.0	15.5	5.3	16.9	8.0	1.5	0.2	
	男性	136	27.2	17.6	19.1	15.4	27.2	11.0	1.5	13.2	4.4	19.1	10.3	2.2	-	
	女性	270	54.4	16.3	13.0	17.4	22.6	11.1	0.4	16.7	5.6	16.3	7.0	1.1	0.4	
	その他	6	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	
年齢別	18～19歳	17	47.1	41.2	11.8	5.9	23.5	11.8	5.9	17.6	5.9	17.6	11.8	5.9	-	
	20～24歳	49	42.9	18.4	16.3	16.3	8.2	6.1	2.0	18.4	4.1	22.4	8.2	4.1	-	
	25～29歳	71	39.4	19.7	22.5	25.4	28.2	14.1	-	18.3	7.0	21.1	4.2	-	-	
	30～34歳	138	39.1	14.5	14.5	21.0	23.2	7.2	-	16.7	5.1	17.4	8.7	2.2	0.7	
	35～39歳	137	55.5	14.6	12.4	11.7	30.7	14.6	1.5	11.7	5.1	12.4	8.8	-	-	
地域別	備前地域	216	46.8	14.4	12.0	13.9	24.1	12.0	0.5	15.7	3.7	17.6	6.9	1.4	-	
	備中地域	164	43.3	21.3	18.3	22.0	28.7	11.6	1.8	14.0	8.5	16.5	8.5	1.2	0.6	
	美作地域	33	48.5	15.2	24.2	18.2	9.1	3.0	-	21.2	-	15.2	12.1	3.0	-	

4 近所の人との関わりや地域活動について

問 1 2 あなたは、最近 1 年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。

《○はいくつでも》

参加した地域活動について、「参加したことがない」との回答が 42.7%と最も高く、次いで「お祭りなどの地域の行事」(39.6%)、「子ども会・町内会行事」(21.9%)などの順となっている。

性別にみると、「幼児(小さな子)や高齢者との交流」との回答は女性(15.4%)が男性(8.7%)を 6.7 ポイント上回っている。

年齢別にみると、35～39 歳は「お祭りなどの地域の行事」との回答が約 5 割、「子ども会・町内会行事」との回答が 3 割台半ば、「清掃・廃品回収」との回答が約 3 割と高くなっており、「公民館などの催し」も加えて、これらの活動で年齢が上がるにつれ高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、美作地域で「お祭りなどの地域の行事」との回答が 4 割台半ば、「子ども会・町内会行事」との回答が約 3 割と高くなっている。

【図表 参加した地域活動(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

		全体	お祭りなどの 地域の行事	子ども会・ 町内会行事	清掃・廃品 回収	公民館などの 催し	幼児(小さな子) や高齢者との 交流	あいさつ・ 声かけ運動	その他	参加したことが ない	無回答
性別	令和5年度	964	39.6	21.9	20.6	8.4	12.6	10.5	1.2	42.7	1.0
	男性	393	36.9	21.4	21.4	6.9	8.7	9.4	1.5	44.0	0.3
	女性	557	41.7	22.1	20.5	9.3	15.4	11.3	1.1	41.7	1.6
	その他	10	30.0	30.0	-	10.0	10.0	10.0	-	50.0	-
年齢別	18～19歳	47	34.0	10.6	12.8	4.3	14.9	12.8	-	48.9	2.1
	20～24歳	124	29.0	11.3	8.1	4.0	11.3	6.5	2.4	56.5	-
	25～29歳	158	33.5	12.7	14.6	5.7	11.4	8.9	0.6	46.8	1.9
	30～34歳	315	39.7	21.3	20.3	9.5	13.3	10.2	0.6	41.3	1.6
	35～39歳	315	47.3	33.0	30.2	11.1	12.7	12.7	1.9	35.9	0.3
地域別	備前地域	484	41.3	22.9	19.2	7.9	13.0	11.4	1.0	41.5	1.2
	備中地域	392	36.0	18.9	22.2	8.7	12.2	9.4	1.8	45.2	1.0
	美作地域	88	46.6	29.5	21.6	10.2	11.4	10.2	-	38.6	-

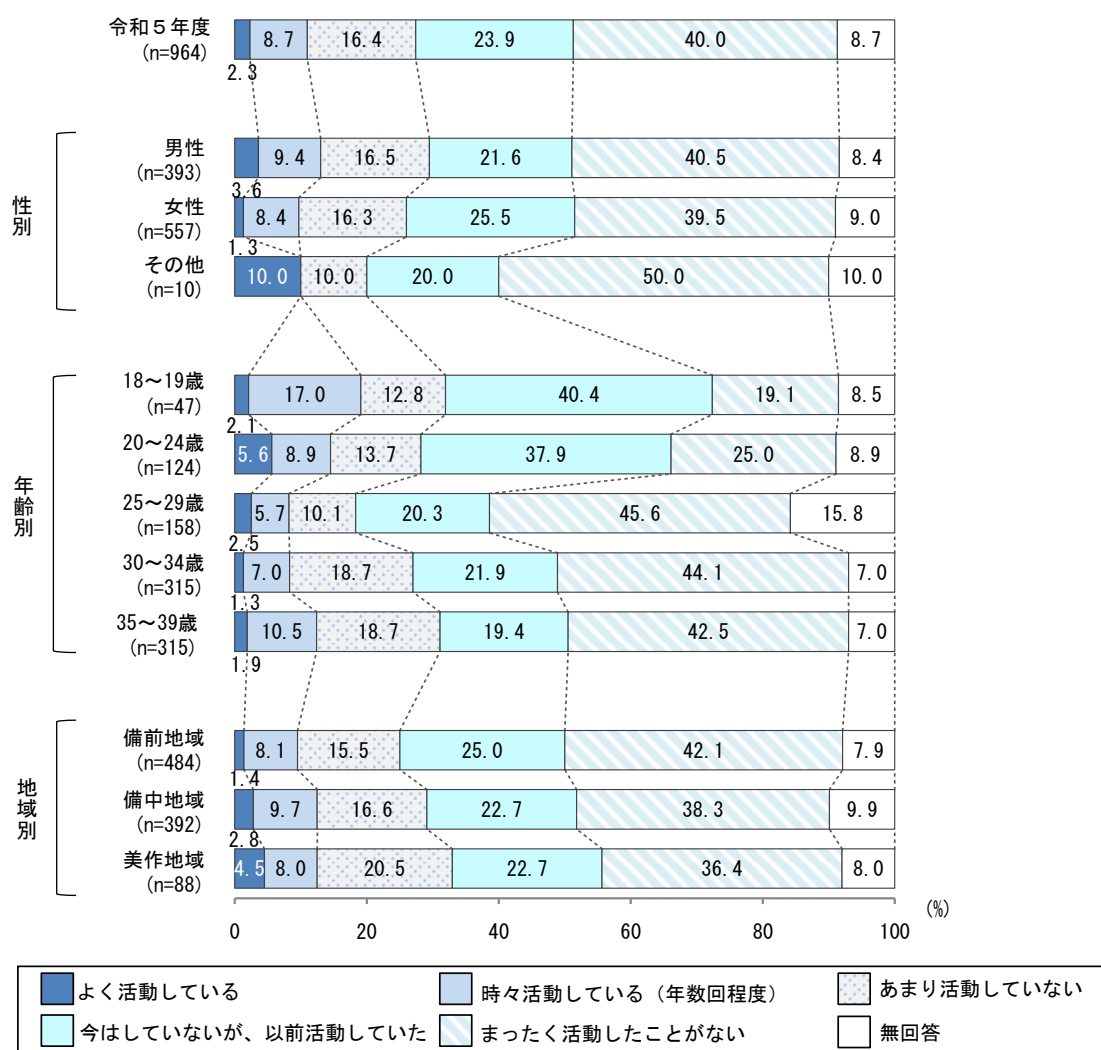
問 1 3 あなたは、ボランティア活動をしていますか。《○は 1 つ》

ボランティア活動の参加頻度について、「まったく活動したことがない」との回答が 40.0%と最も高く、次いで「今はしていないが、以前活動していた」(23.9%)、「あまり活動していない」(16.4%)などの順となっている。

年齢別にみると、18～19 歳で「時々活動している」との回答が約 2 割と高くなっている。また、18～24 歳で「まったく活動したことがない」との回答が約 2 割から 2 割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 ボランティア活動の参加頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】



（問１２で「８. 参加したことがない」または問１３で「５. まったく活動したことがない」に○がついた人だけお答えください。）

問１４ あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。

《○は３つまで》

地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、「活動の時間がない」との回答が 40.7% と最も高く、次いで「活動の情報がない」(25.2%)、「興味・関心がない」(23.8%) などの順となっている。

性別にみると、「活動の時間がない」との回答は女性(45.0%)が男性(34.9%)を 10.1 ポイント、「参加の方法が分からない」との回答は女性(16.6%)が男性(9.5%)を 7.1 ポイント上回っている。また、「興味・関心がない」との回答は男性(28.4%)が女性(20.7%)を 7.7 ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19 歳で「気軽に参加できる活動が少ない」との回答が 2 割超、25～29 歳で「興味・関心がない」、「活動の情報がない」との回答が 3 割超から 3 割台半ば、30～39 歳で「活動の時間がない」との回答が 4 割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、美作地域で「活動の情報がない」との回答が 1 割台半ば、「活動の時間がない」との回答が約 3 割と低くなっている。また、備前地域では「気軽に参加できる活動が少ない」との回答が 1 割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	活動の情報がない	参加の方法が分からない	活動の時間がない	気軽に活動に参加できる活動が少ない	誘ってくれない仲間	活動するのかわずらわしい	しばらくたたく団体などに	自分にとって何の得にもならない	興味・関心がない	その他	特に理由はない	無回答
令和5年度	580	25.2	13.4	40.7	10.0	11.2	10.5	13.1	4.0	23.8	3.4	14.0	3.4
性別													
男性	232	21.6	9.5	34.9	9.1	9.5	11.6	12.5	4.3	28.4	4.3	15.1	3.4
女性	338	27.8	16.6	45.0	10.9	12.7	9.8	13.9	3.6	20.7	3.0	12.7	3.0
その他	7	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	42.9	14.3
年齢別													
18～19歳	23	17.4	13.0	34.8	21.7	17.4	4.3	-	-	26.1	4.3	13.0	13.0
20～24歳	80	25.0	11.3	37.5	8.8	7.5	6.3	5.0	1.3	16.3	1.3	17.5	8.8
25～29歳	99	33.3	11.1	34.3	7.1	14.1	10.1	11.1	5.1	31.3	2.0	22.2	1.0
30～34歳	194	22.7	12.4	43.8	7.2	9.8	10.8	14.4	5.7	26.8	3.6	11.9	3.1
35～39歳	182	24.2	17.0	43.4	13.7	12.1	13.2	18.1	3.3	19.2	4.9	10.4	1.6
地域別													
備前地域	296	28.0	15.2	42.9	13.9	13.5	10.8	14.2	4.7	23.3	3.4	10.8	2.4
備中地域	232	23.7	12.1	40.1	6.5	8.6	9.9	10.8	3.4	24.1	2.2	17.7	5.2
美作地域	52	15.4	9.6	30.8	3.8	9.6	11.5	17.3	1.9	25.0	9.6	15.4	1.9

問 1 5 あなたは、近所（同じ町内会）の人とのかかわりはどの程度ですか。《○は1つ》

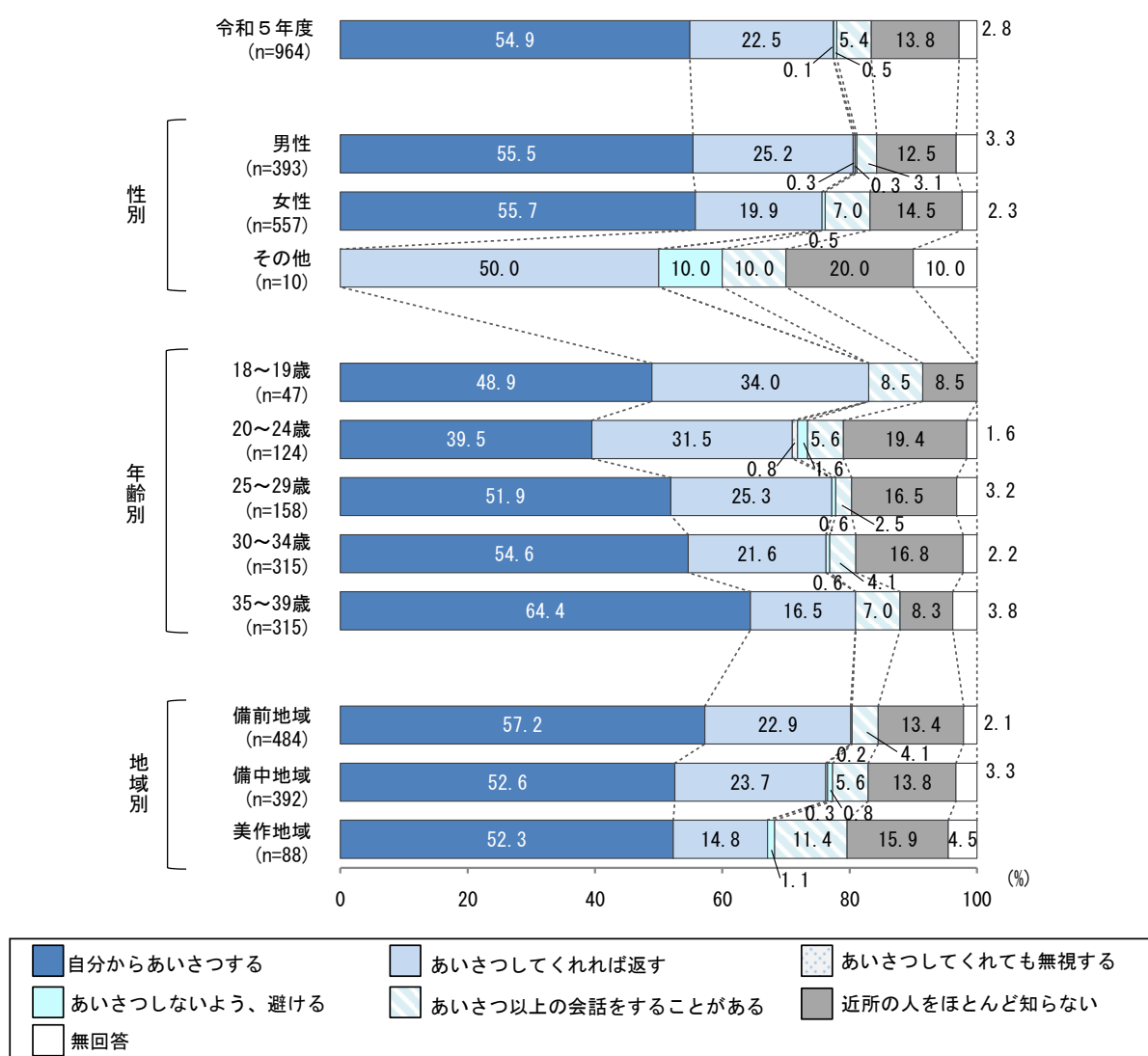
近所の人とのかかわりの程度について、「自分からあいさつする」との回答が 54.9%と最も高く、次いで「あいさつしてくれれば返す」（22.5%）、「近所の人をほとんど知らない」（13.8%）などの順となっている。

性別にみると、「あいさつしてくれれば返す」との回答は男性（25.2%）が女性（19.9%）を 5.3 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「自分からあいさつする」との回答が 18～19 歳を除いて、年齢が上がるにつれて高くなっている。逆に、「あいさつしてくれれば返す」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「あいさつしてくれれば返す」との回答が 1 割台半ばと低くなっている。また、「あいさつ以上の会話をする」との回答は 1 割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 近所の人とのかかわりの程度（全体・性別・年齢別・地域別）】



問 1 6 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。《○はいくつでも》

地域の人と一緒にしたいことについて、「特にない」との回答が 75.0%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」(8.9%)、「一緒に体験活動がしたい」(7.9%)などの順となっている。

性別にみると、「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」との回答は男性(12.2%)が女性(6.8%)を 5.4 ポイント上回っている。

年齢別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	一緒に遊びたい	一緒にスポーツをしたり体を動かしたい	一緒に地域のことに興味を持ちたい	一緒に地域の行事やイベントなどの企画や運営がしたい	一緒に体験活動がしたい	一緒に地域のことで話したい	その他	特にない	無回答
性別	令和5年度	964	7.5	8.9	4.9	7.8	7.9	2.9	0.9	75.0	0.9
	男性	393	7.9	12.2	5.9	7.6	9.4	4.1	1.3	72.8	1.0
	女性	557	7.2	6.8	4.3	8.1	7.0	2.0	0.7	76.3	0.9
	その他	10	-	-	-	-	-	10.0	-	90.0	-
年齢別	18～19歳	47	6.4	14.9	4.3	6.4	14.9	4.3	-	63.8	-
	20～24歳	124	1.6	7.3	3.2	8.9	5.6	2.4	-	79.0	0.8
	25～29歳	158	5.7	5.7	3.8	7.0	5.1	0.6	-	81.0	1.3
	30～34歳	315	7.9	7.6	3.8	7.0	7.0	3.8	1.6	76.8	1.3
	35～39歳	315	10.5	11.4	7.3	8.6	10.2	3.2	1.3	70.5	0.6
地域別	備前地域	484	7.4	9.7	4.5	7.6	8.5	2.5	1.0	74.8	1.0
	備中地域	392	7.7	7.9	5.1	8.7	7.7	2.6	0.8	74.5	1.0
	美作地域	88	6.8	9.1	5.7	4.5	5.7	6.8	1.1	78.4	-

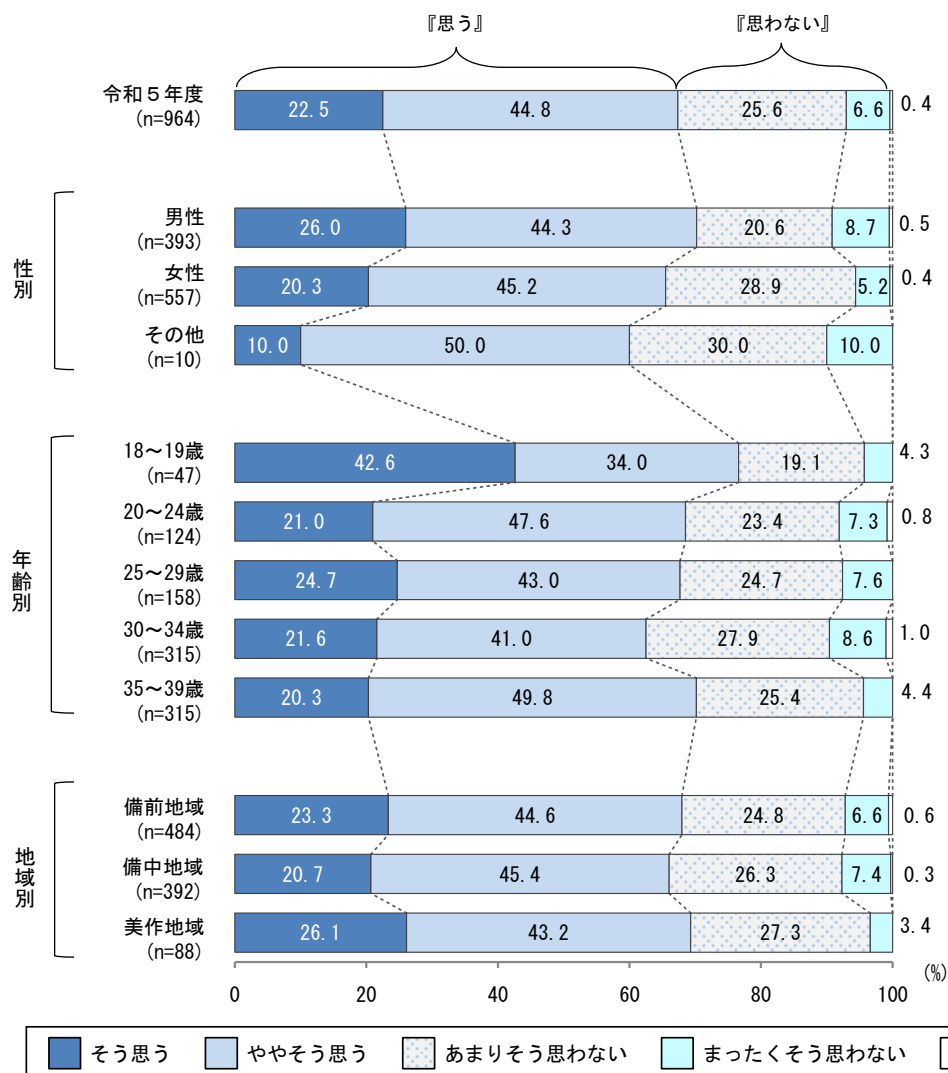
問 17 あなた自身のことについておたずねします。《○は①～⑨それぞれ1つずつ》

① 今の自分が好きである

今の自分が好きであるかどうかについて、年齢別にみると、35～39歳を除いて『思う』（「思う」と「やや思う」を合わせた割合）との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 今の自分が好きである（全体・性別・年齢別・地域別）】

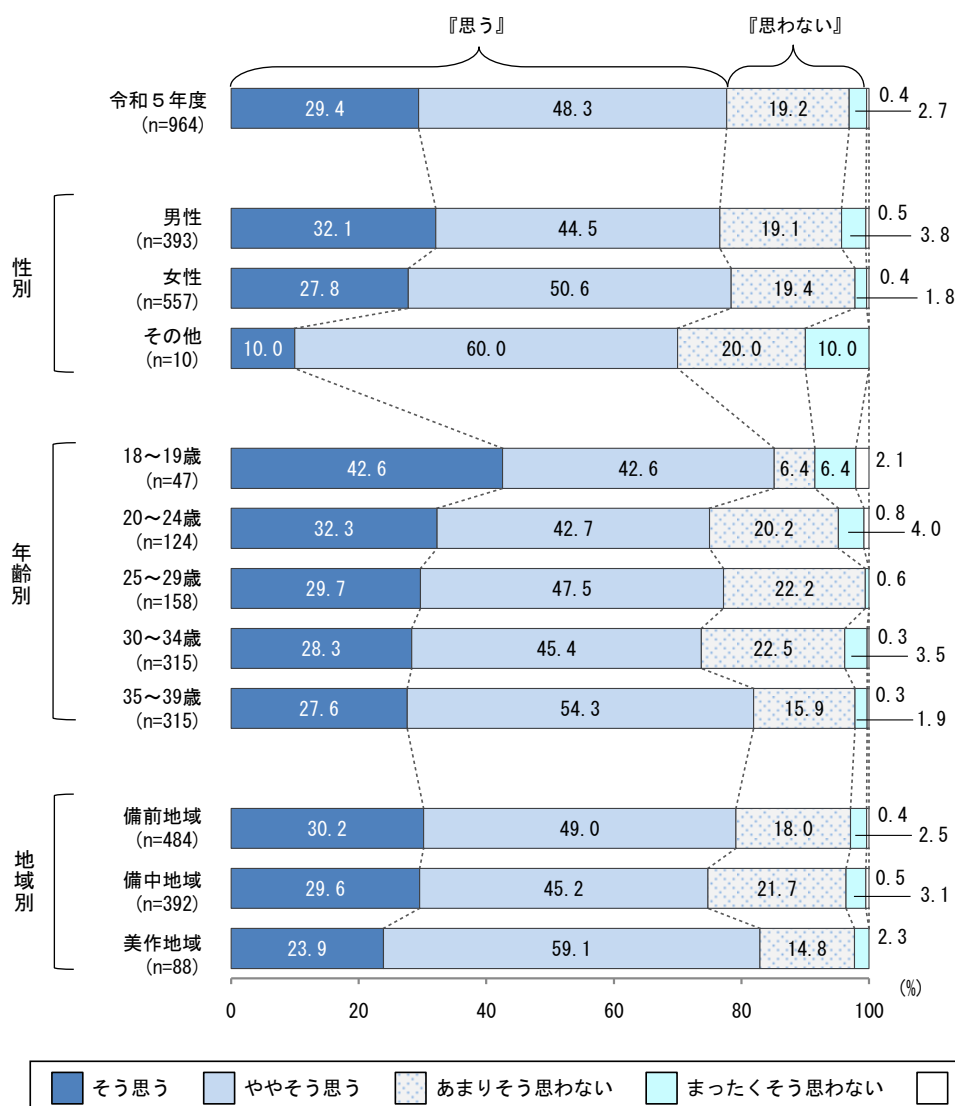


② 自分にはよいところがあると思う

自分にはよいところがあると思うかどうかについて、年齢別にみると、20～34歳で『思わない』（「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた割合）との回答が2割超から2割台半ばと高くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 自分にはよいところがあると思う（全体・性別・年齢別・地域別）】



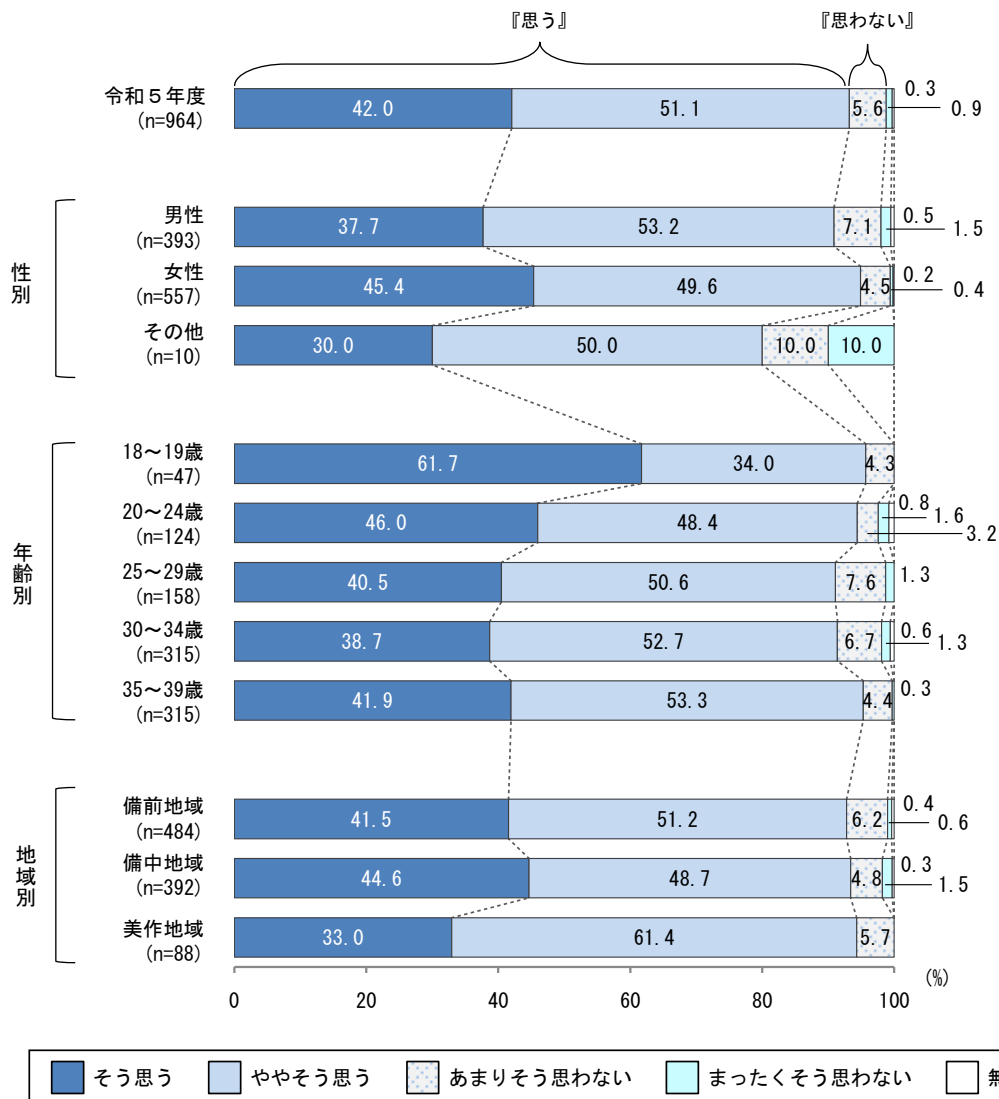
地域別にみると、備前地域で『思う』との回答が約7割と他の地域に比べ高くなっている。

④ きまりやルールをきちんと守るほうだ

きまりやルールをきちんと守るほうかどうかについて、『思う』との回答が 93.1%、『思わない』との回答が 6.5%となっている。

性別、年齢別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 きまりやルールをきちんと守るほうだ（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑤ どんなことでも積極的なほうだ

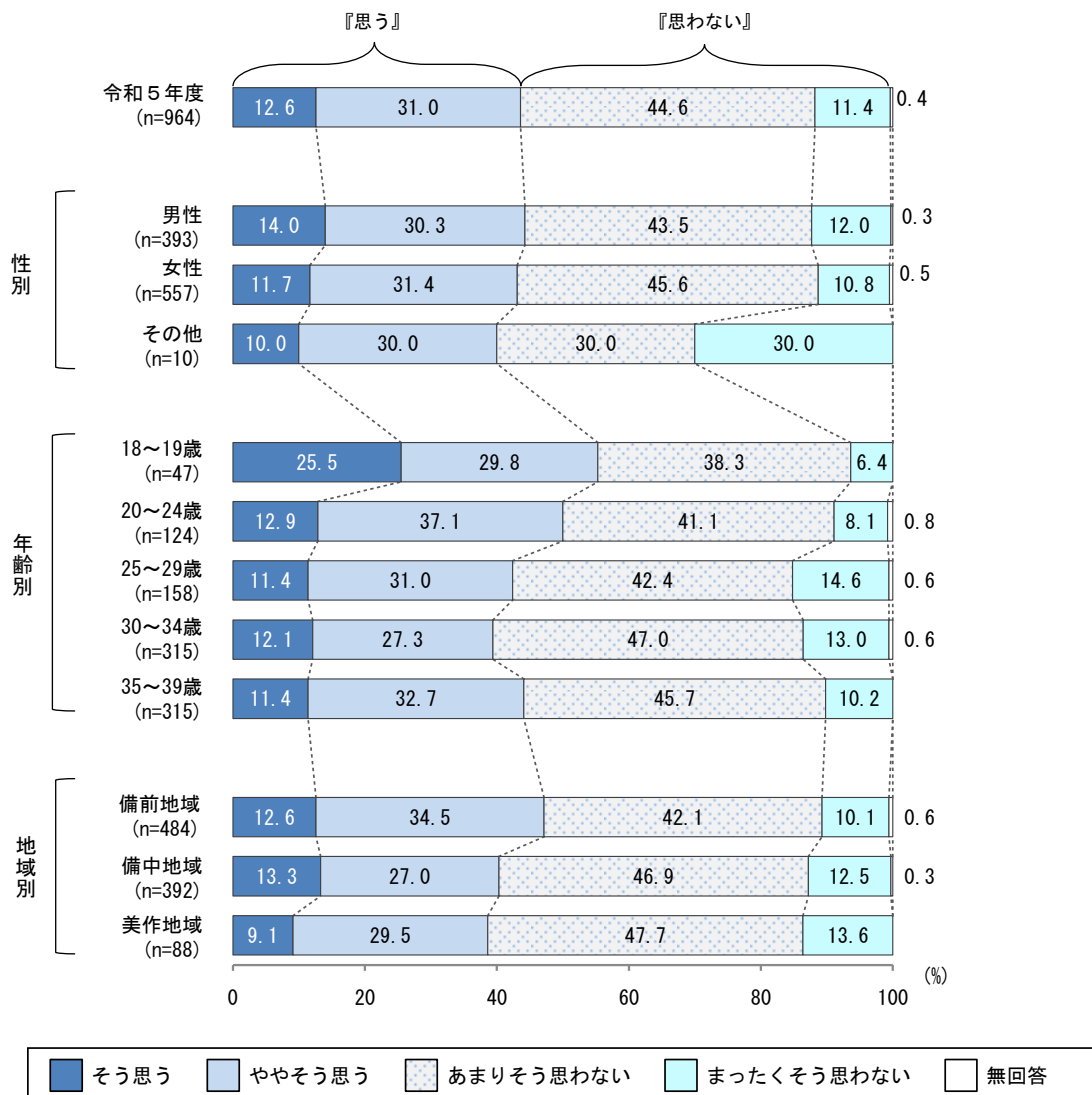
どんなことでも積極的なほうかについて、『思う』との回答が 43.6%、『思わない』との回答が 56.0%となっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、35～39 歳を除いて『思う』との回答は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備前地域で『思う』との回答が約 5 割と高くなっている。

【図表 どんなことでも積極的なほうだ（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑥ キレやすい

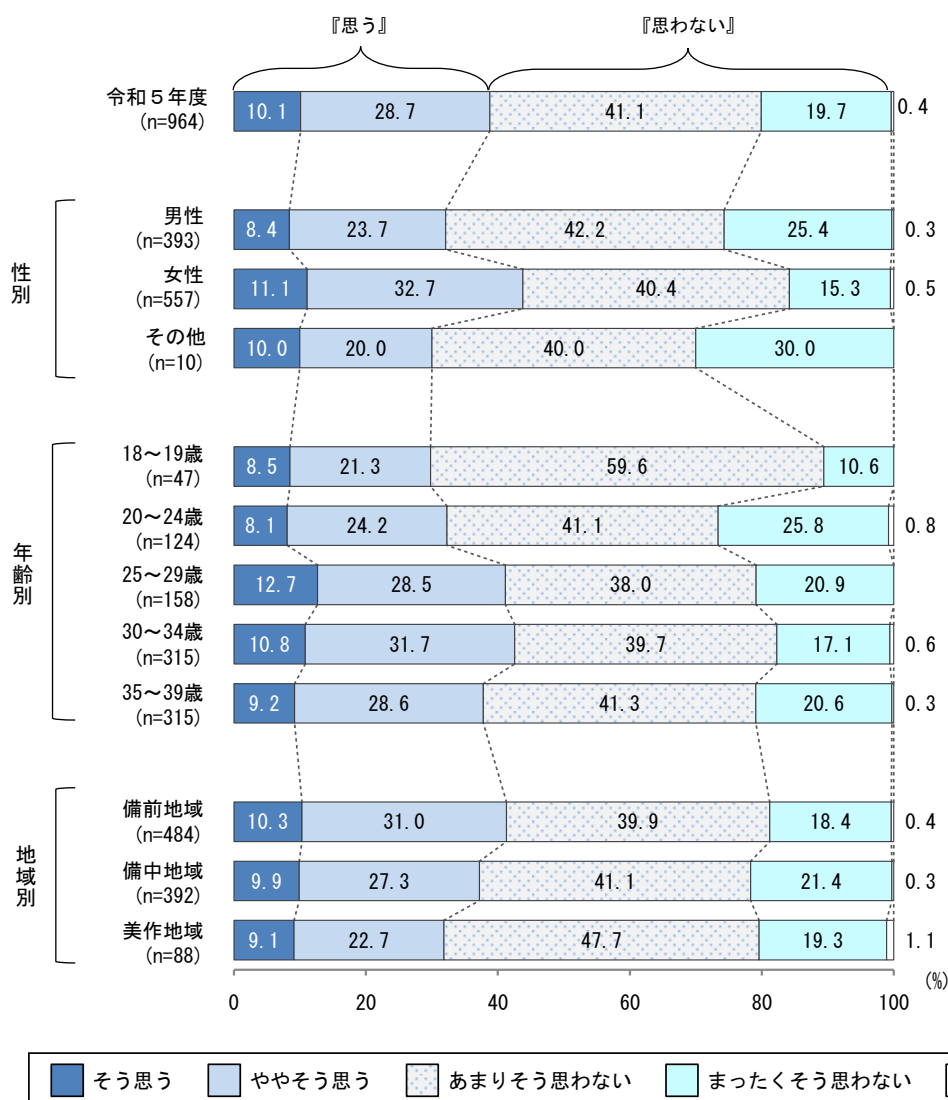
キレやすいかどうかについて、『思う』との回答が 38.8%、『思わない』との回答が 60.8%となっている。

性別にみると、『思う』との回答は女性（43.8%）が男性（32.1%）を 11.7 ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～24 歳で『思う』との回答が 3 割前後と低くなっている。

地域別にみると、美作地域で『思う』との回答が 3 割超と低くなっている。

【図表 キレやすい（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑦ つまらないことですぐに落ちこむ

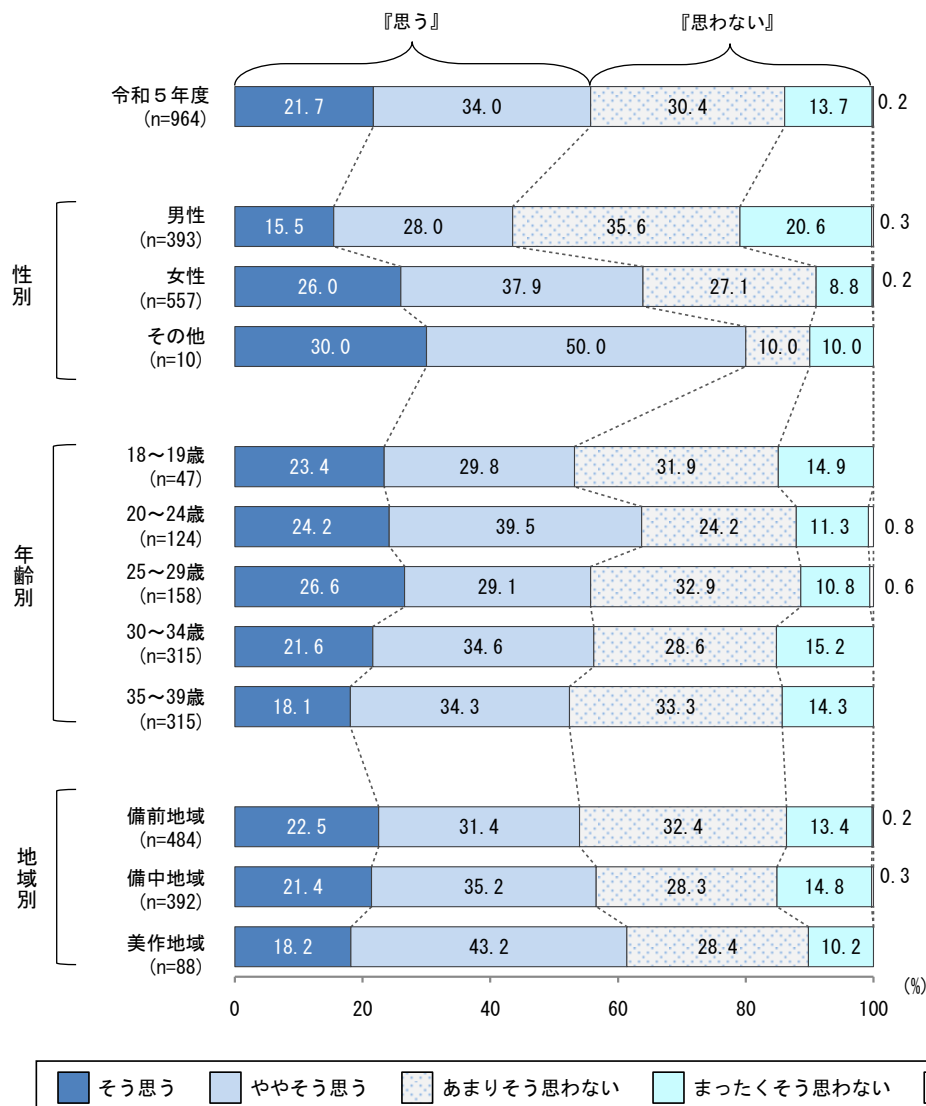
つまらないことですぐに落ちこむかどうかについて、『思う』との回答が 55.7%、『思わない』との回答が 44.1%となっている。

性別にみると、『思う』との回答は女性（63.9%）が男性（43.5%）を 20.4 ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24 歳で『思う』との回答が 6 割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 つまらないことですぐに落ちこむ（全体・性別・年齢別・地域別）】



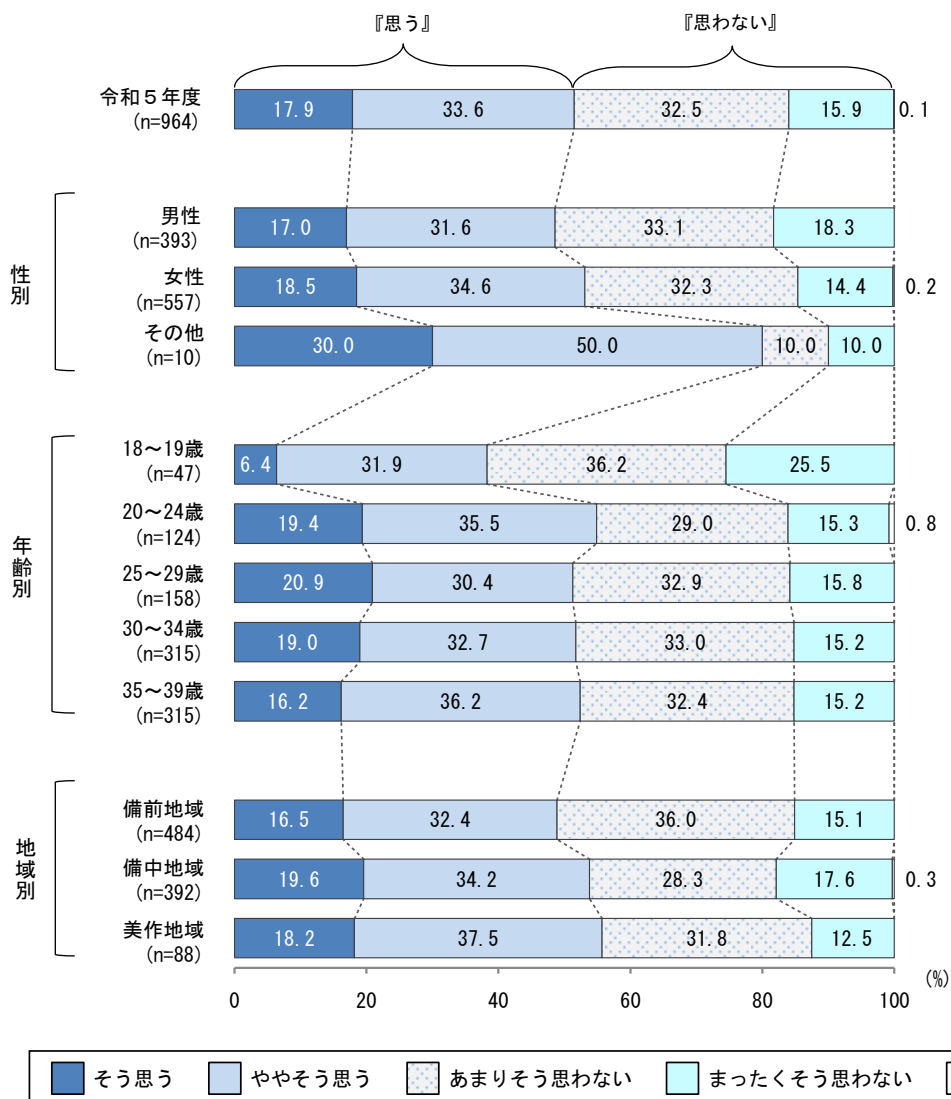
⑧ 人とつきあうのが苦手だ

人とつきあうのが苦手かどうかについて、『思う』との回答が 51.5%、『思わない』との回答が 48.4%となっている。

年齢別にみると、18～19 歳で『思う』との回答が約 4 割と低くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 人とつきあうのが苦手だ（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑨ 自信を持ってやれることがない

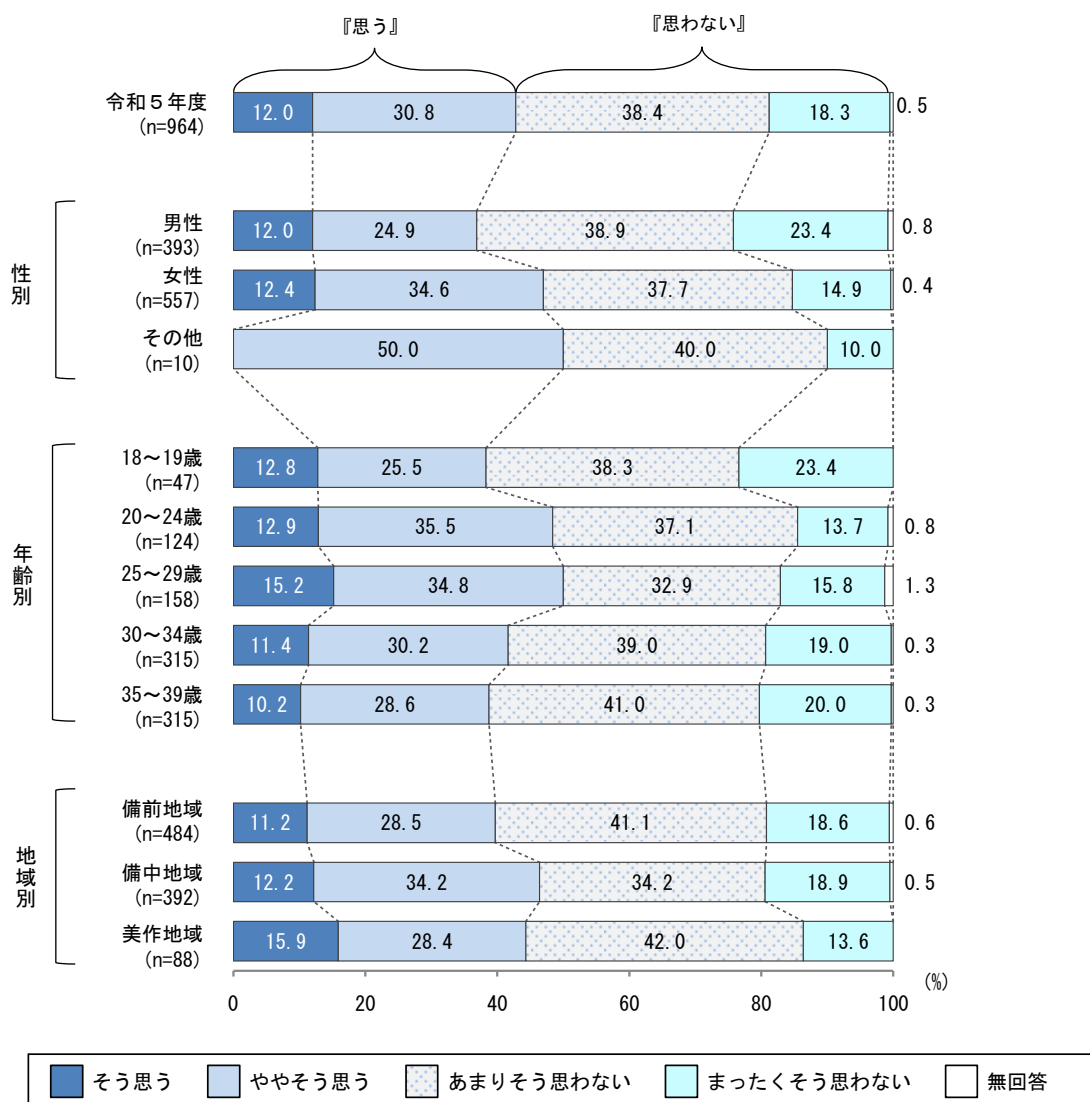
自信を持ってやれることがないかどうかについて、『思う』との回答が42.8%、『思わない』との回答が56.7%となっている。

性別にみると、『思う』との回答は女性（47.0%）が男性（36.9%）を10.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～29歳は『思う』との回答が約5割と高くなっている。

地域別にみると、備前地域で『思う』との回答が約4割と低くなっている。

【図表 自信を持ってやれることがない（全体・性別・年齢別・地域別）】



問 1 8 あなたが、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。

《○は3つまで》

一番楽しさを感じる時について、「家族と一緒に過ごしているとき」との回答が 55.6%と最も高く、次いで「趣味に没頭しているとき」(43.2%)、「友達や交際相手と一緒に過ごしているとき」(39.9%)などの順となっている。

性別にみると、「まちで買い物などをしているとき」との回答は女性(35.2%)が男性(11.2%)を 24.0 ポイント上回っている。また、「ゲームをしているとき」との回答は男性(24.7%)が女性(6.8%)を 17.9 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家族と一緒に過ごしているとき」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。また、「友達や交際相手と一緒に過ごしているとき」「趣味に没頭しているとき」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備前地域は「家族と一緒に過ごしているとき」との回答が約 6 割、美作地域は「テレビを見ているとき」との回答が約 2 割と高くなっている。

【図表 一番楽しさを感じる時（全体・性別・年齢別・地域別）】

		(%)									
		全体	家族と一緒に過ごしているとき	仕事をしているとき	友達や交際相手と一緒に過ごしているとき	学校で授業を受けているとき	何かを学んでいるとき	趣味に没頭しているとき	スポーツなどで体を動かしているとき	地域の行事や活動に参加しているとき	
性別	令和5年度	964	55.6	12.2	39.9	0.4	9.9	43.2	17.8	1.3	
	男性	393	49.6	13.0	33.1	0.3	10.2	48.3	28.0	1.5	
	女性	557	60.5	11.8	44.5	0.5	9.7	39.5	11.1	1.3	
	その他	10	30.0	10.0	60.0	-	10.0	30.0	-	-	
年齢別	18～19歳	47	34.0	-	68.1	-	6.4	55.3	34.0	-	
	20～24歳	124	35.5	2.4	57.3	1.6	8.9	52.4	18.5	0.8	
	25～29歳	158	51.3	8.9	46.2	-	7.0	44.9	13.9	-	
	30～34歳	315	58.4	17.1	39.4	0.3	11.7	41.9	18.7	1.0	
	35～39歳	315	66.3	14.9	27.0	0.3	10.5	37.8	16.2	2.5	
地域別	備前地域	484	59.9	14.9	40.5	0.2	10.3	41.9	17.1	1.2	
	備中地域	392	51.3	8.2	40.1	0.8	9.4	45.7	17.9	1.5	
	美作地域	88	51.1	15.9	36.4	-	9.1	38.6	21.6	1.1	
		全体	まちで買い物などをしているとき	ひとりですごしているとき	テレビを見ているとき	ゲームをしているとき	使っているパソコンやスマートフォン	その他	特にない	無回答	
性別	令和5年度	964	25.3	22.1	10.6	14.2	17.6	2.0	1.7	-	
	男性	393	11.2	17.0	11.2	24.7	20.1	2.3	1.8	-	
	女性	557	35.2	25.7	10.1	6.8	15.6	1.6	1.4	-	
	その他	10	30.0	20.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	
年齢別	18～19歳	47	21.3	17.0	10.6	12.8	23.4	-	-	-	
	20～24歳	124	21.8	24.2	8.1	13.7	18.5	2.4	1.6	-	
	25～29歳	158	28.5	24.1	10.1	17.1	20.9	2.5	2.5	-	
	30～34歳	315	25.4	21.6	8.6	12.7	16.5	1.9	1.3	-	
	35～39歳	315	25.1	21.3	13.3	14.3	15.9	1.9	1.6	-	
地域別	備前地域	484	26.9	19.6	10.5	12.2	18.6	1.4	1.4	-	
	備中地域	392	24.7	24.0	8.9	16.1	16.3	2.6	2.3	-	
	美作地域	88	19.3	27.3	18.2	17.0	18.2	2.3	-	-	

問 1 9 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。《○は3つまで》

心配事や悩みの相談相手について、「あなたの父母」との回答が 58.0%と最も高く、次いで「友人」(49.7%)、「配偶者」(42.7%)などの順となっている。

性別にみると、「あなたの父母」との回答は女性(66.6%)が男性(46.1%)を 20.5 ポイント、「友人」との回答は女性(56.9%)が男性(39.2%)を 17.7 ポイント、「兄弟・姉妹」との回答は女性(27.6%)が男性(13.5%)を 14.1 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「配偶者」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。対して、「友人」「先輩」との回答は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。また、20～29 歳は「あなたの父母」との回答が約 7 割と高くなっている。

地域別にみると、備前地域は「配偶者」との回答が約 5 割と高くなっている。また、美作地域は「友人」との回答が約 4 割と低くなっている。

【図表 心配事や悩みの相談相手(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)									
		全体	配偶者	あなたの父母	配偶者の父母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の親戚	友人	インターネット上の友人	先輩
性別	令和5年度	964	42.7	58.0	3.4	21.8	1.8	2.0	49.7	3.2	5.7
	男性	393	38.2	46.1	1.5	13.5	1.0	1.5	39.2	3.3	9.2
	女性	557	46.5	66.6	4.8	27.6	2.0	2.2	56.9	3.1	3.4
	その他	10	20.0	60.0	-	30.0	10.0	-	50.0	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	-	61.7	-	14.9	-	-	63.8	4.3	8.5
	20～24歳	124	8.1	70.2	3.2	26.6	7.3	3.2	64.5	1.6	7.3
	25～29歳	158	33.5	67.1	4.4	24.7	2.5	3.2	52.5	4.4	6.3
	30～34歳	315	52.7	53.7	4.1	20.0	1.0	1.3	45.7	4.8	6.0
	35～39歳	315	58.1	53.0	2.9	21.6	0.3	1.9	44.4	1.6	4.1
地域別	備前地域	484	49.0	55.2	4.1	20.2	1.2	2.1	51.7	2.3	5.8
	備中地域	392	35.5	61.5	2.6	24.0	2.6	2.3	49.2	4.3	5.6
	美作地域	88	40.9	58.0	3.4	20.5	1.1	-	40.9	3.4	5.7
		全体	予備学校等の塾・先生	近所や職場の人	S N S 相談・メール相談・電話相談・その他の人	相談相手がない	相談しな	特に悩みはない	無回答		
性別	令和5年度	964	1.3	12.4	0.8	3.0	2.3	6.2	5.4	0.1	
	男性	393	1.3	13.5	0.3	2.8	3.6	9.4	9.7	-	
	女性	557	1.4	12.0	1.3	3.2	1.4	3.9	2.2	0.2	
	その他	10	-	-	-	-	-	10.0	20.0	-	
年齢別	18～19歳	47	12.8	4.3	-	-	2.1	10.6	6.4	-	
	20～24歳	124	3.2	4.8	-	4.8	0.8	5.6	5.6	-	
	25～29歳	158	-	12.7	-	5.1	2.5	5.1	7.0	-	
	30～34歳	315	0.6	12.4	1.0	1.9	2.2	7.6	4.1	0.3	
	35～39歳	315	0.3	16.8	1.6	2.9	2.9	5.1	5.1	-	
地域別	備前地域	484	1.4	11.8	0.8	2.5	2.3	7.6	5.2	-	
	備中地域	392	1.0	13.0	1.0	4.1	2.0	4.1	5.1	0.3	
	美作地域	88	2.3	13.6	-	1.1	3.4	8.0	8.0	-	

5 仕事について

(就職している方だけお答えください。)

問20 あなたは、今の仕事について、どう考えていますか。《○は1つ》

今の仕事について、「今の仕事を続けたい」との回答が44.9%と最も高く、次いで「しかたがないから続ける」(27.2%)、「将来はやめたい」(9.5%)などの順となっている。

性別にみると、「しかたがないから続ける」との回答は男性(30.9%)が女性(23.8%)を7.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、備前地域で「今の仕事を続けたい」との回答が約5割と高くなっている。

【図表 今の仕事について（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	今の仕事を 続けたい	しかたがない から続ける	勤め先を 変えたい	仕事の内容 を変えたい	独立して仕事 をはじめたい	企業に勤めたい 自営をやめて	将来はやめたい	すぐにやめたい	その他	無回答
	令和5年度	746	44.9	27.2	8.0	3.1	2.5	0.4	9.5	1.3	1.1	1.9
性別	男性	324	48.5	30.9	5.9	2.5	2.8	0.9	5.9	1.2	1.2	0.3
	女性	411	42.6	23.8	10.0	3.6	2.4	-	12.2	1.5	0.7	3.2
	その他	8	25.0	37.5	-	-	-	-	25.0	-	12.5	-
年齢別	18～19歳	11	45.5	27.3	-	-	-	-	9.1	-	-	18.2
	20～24歳	61	41.0	21.3	6.6	8.2	3.3	-	13.1	-	1.6	4.9
	25～29歳	142	43.0	31.0	8.5	2.1	1.4	0.7	11.3	-	-	2.1
	30～34歳	270	43.0	24.1	10.0	5.2	2.2	-	9.6	3.0	2.2	0.7
	35～39歳	260	48.8	30.0	6.2	0.4	3.5	0.8	7.7	0.8	0.4	1.5
地域別	備前地域	381	47.8	25.7	6.3	2.9	2.9	0.3	8.9	2.1	1.0	2.1
	備中地域	288	42.4	28.1	10.1	3.1	2.1	0.3	10.1	0.7	1.4	1.7
	美作地域	77	40.3	31.2	9.1	3.9	2.6	1.3	10.4	-	-	1.3

(就職している方だけお答えください。)

問 2 1 あなたが、今の仕事に対して不満に感じていることは何ですか。《○は2つまで》

今の仕事の不満点について、「賃金・収入や待遇」との回答が 48.0%と最も高く、次いで「勤務時間や休暇」(25.7%)、「上司や同僚との人間関係」(17.7%)などの順となっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、20～24 歳は「今後どのような役職・立場になるか不安」との回答が 1 割未満と低くなっている。また、30～34 歳は「勤務時間や休暇」との回答が約 3 割と高くなっている。

地域別にみると、美作地域は「賃金・収入や待遇」との回答が約 6 割と高くなっている。また、同地域で「勤務時間や休暇」との回答が 1 割台半ばと低くなっている。

【図表 今の仕事の不満点（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	賃金・収入や待遇	勤務時間や休暇	仕事の内容	上司や同僚との人間関係	自分の能力が適正に評価されない	今後どのような役職・立場になるか不安	その他	不満はない	無回答
	令和5年度	746	48.0	25.7	16.2	17.7	5.8	11.3	3.1	16.1	2.0
性別	男性	324	46.6	24.7	14.2	19.1	7.4	12.0	3.4	14.8	1.2
	女性	411	49.4	26.5	17.3	16.1	4.4	10.7	2.9	17.3	2.7
	その他	8	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	—	12.5	—
年齢別	18～19歳	11	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1	—	—	27.3	18.2
	20～24歳	61	47.5	18.0	18.0	19.7	4.9	4.9	1.6	13.1	6.6
	25～29歳	142	50.7	25.4	16.9	21.1	4.2	12.0	3.5	16.2	1.4
	30～34歳	270	48.5	30.7	15.2	14.8	7.0	13.0	2.2	16.7	0.7
	35～39歳	260	47.7	22.3	16.9	18.5	5.4	11.2	4.2	15.4	1.9
地域別	備前地域	381	47.0	26.2	14.2	17.6	5.8	12.9	2.1	17.1	1.6
	備中地域	288	46.5	27.4	17.4	17.4	5.6	10.1	3.5	16.0	3.1
	美作地域	77	58.4	16.9	22.1	19.5	6.5	7.8	6.5	11.7	—

（就職していない方（学生は除く）だけお答えください。）

問 2 2 あなたが、就職していない主な理由は何ですか。《○は1つ》

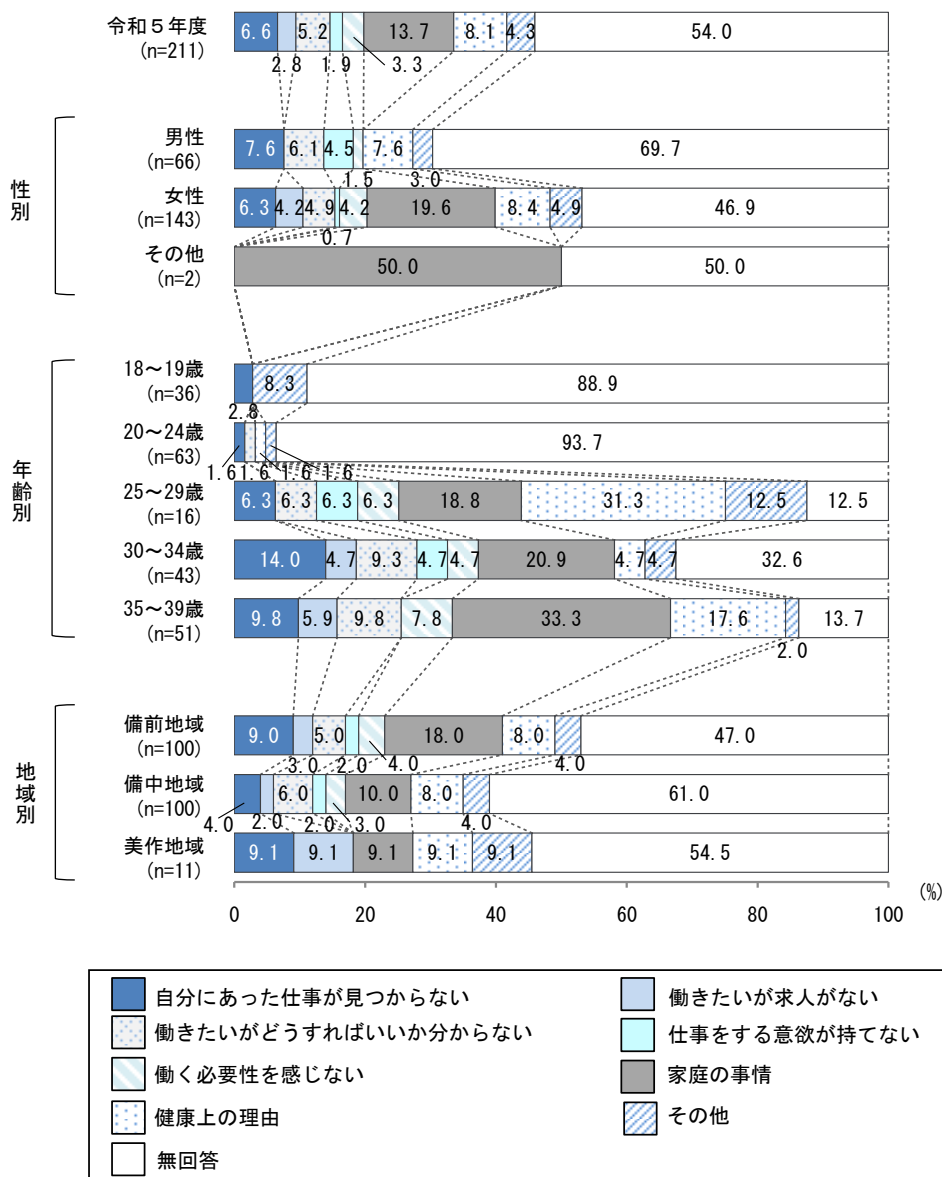
就職していない理由について、「家庭の事情」との回答が 13.7%と最も高く、次いで「健康上の理由」（8.1%）、「自分にあった仕事が見つからない」（6.6%）などの順となっている。

性別にみると、「家庭の事情」との回答は女性（19.6%）が男性（0.0%）を 19.6 ポイント上回っている。

年齢別にみると、35～39 歳は「家庭の事情」との回答が 3 割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 就職していない理由（全体・性別・年齢別・地域別）】



問23 近年、15歳～34歳の若者で、家事・通学・仕事もしておらず、職業訓練も受けていないニート（若年無業者）の存在がクローズアップされていますが、ニートに対する取組として、特にどのようなことが必要だと思いますか《○は3つまで》

ニートに対する取組で特に必要なことについて、「雇用の拡大」との回答が41.6%と最も高く、次いで「家庭教育の見直しや、家庭内でのコミュニケーションの充実」（41.1%）、「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」（33.3%）などの順となっている。

性別にみると、「学校中退・卒業者対象の相談場所やカウンセリングの充実」との回答は女性（34.8%）が男性（27.0%）を7.8ポイント、「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」との回答は女性（35.7%）が男性（29.3%）を6.4ポイント、「国や地方公共団体における若者自立支援対策の充実」との回答は女性（25.9%）が男性（20.6%）を5.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24歳は「家庭教育の見直しや、家庭内でのコミュニケーションの充実」との回答が2割台半ばと低くなっている。また、30～39歳で「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」との回答が3割台半ば、18～19歳で「学校中退・卒業者対象の相談場所やカウンセリングの充実」が約4割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 ニートに対する取組で特に必要なこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	家庭教育の見直しや、 家庭内での コミュニケーションの 充実	学校 における 職業に 関する 教育の 充実	専 門 的 な 技 術 ・ 能 力 を 習 得 で き る 職 業 訓 練 の 充 実	雇 用 の 拡 大	学 校 中 退 ・ 卒 業 者 対 象 の 相 談 場 所 や カ ウ ン セ リ ン グ の 充 実	国 や 地 方 公 共 団 体 に お け る 若 者 自 立 支 援 策 の 充 実	町 内 会 等 の 地 域 の つ な が り の 強 化	そ の 他	無 回 答
	令和5年度	964	41.1	30.9	33.3	41.6	31.6	23.4	5.8	7.0	6.5
性別	男性	393	42.0	29.0	29.3	40.5	27.0	20.6	7.9	9.4	7.9
	女性	557	41.3	32.5	35.7	42.9	34.8	25.9	4.1	5.0	5.4
	その他	10	10.0	20.0	60.0	30.0	30.0	-	10.0	20.0	10.0
年齢別	18～19歳	47	42.6	19.1	27.7	31.9	40.4	19.1	4.3	-	14.9
	20～24歳	124	24.2	31.5	28.2	45.2	29.0	24.2	4.8	2.4	12.1
	25～29歳	158	43.0	32.3	27.2	36.7	32.3	25.9	5.1	9.5	3.2
	30～34歳	315	45.4	31.1	36.5	43.8	30.2	21.3	4.8	8.3	4.4
	35～39歳	315	42.9	32.1	36.5	42.5	32.7	25.1	7.3	7.0	6.3
地域別	備前地域	484	43.4	30.8	34.5	41.3	31.2	25.0	5.6	7.0	6.2
	備中地域	392	39.0	30.4	31.1	41.1	32.1	21.4	6.1	7.1	7.9
	美作地域	88	37.5	34.1	36.4	45.5	31.8	23.9	5.7	5.7	2.3

6 青少年の健全育成について

問24 あなたは、青少年の健全育成のために、特にどのようなことが必要だと思いますか。
《○は3つまで》

青少年の健全育成のために特に必要なことについて、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答が44.3%と最も高く、次いで「青少年の居場所を整備すること」(39.1%)、「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」(39.0%)などの順となっている。

性別にみると、「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答は女性(44.9%)が男性(30.5%)を14.4ポイント、「悩み事などの相談機関を充実させること」との回答は女性(33.0%)が男性(22.6%)を10.4ポイント上回っている。また、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答は男性(50.6%)が女性(40.6%)を10.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24歳で「家庭でのしつけや教育を充実すること」、18～19歳で「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答がいずれも約3割と低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答が5割超と高く、「学校での道徳教育や生徒指導を充実すること」との回答は2割超と低くなっている。

【図表 青少年の健全育成のために特に必要なこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	家庭でのしつけや 教育を充実すること	学校での道徳教育や生 徒指導を充実すること	地域社会での青少年の 健全育成を充実する こと	家庭・学校・地域が 連携して、青少年の健 全育成に取り組むこと	悩み事などの相談 機関を充実させること	青少年のポランティ ア活動を促進すること	青少年の居場所を 整備すること	青少年の自然体験 活動を推進すること	青少年の非行防止 活動を推進すること	青少年に悪影響を 与える有害な環境を なくすこと	その他	わからない	無回答
性別	令和5年度	964	44.3	28.5	11.4	39.0	28.8	5.8	39.1	7.6	7.0	17.8	4.1	7.1	0.6
	男性	393	50.6	29.8	15.0	30.5	22.6	7.1	33.1	7.1	9.7	17.8	4.6	8.9	0.8
	女性	557	40.6	27.6	9.2	44.9	33.0	4.8	43.1	7.9	5.2	17.4	3.6	5.7	0.5
	その他	10	-	10.0	-	40.0	40.0	10.0	60.0	10.0	-	20.0	20.0	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	40.4	44.7	12.8	27.7	31.9	6.4	36.2	2.1	10.6	10.6	2.1	8.5	-
	20～24歳	124	28.2	34.7	7.3	36.3	33.1	6.5	42.7	5.6	4.8	17.7	2.4	10.5	-
	25～29歳	158	47.5	23.4	8.2	38.0	36.7	5.7	31.6	8.9	9.5	13.3	6.3	8.2	0.6
	30～34歳	315	47.9	25.1	14.0	42.2	23.8	5.4	39.0	6.0	7.0	18.1	3.5	6.7	1.0
	35～39歳	315	46.3	29.8	11.4	39.0	27.6	5.7	41.6	10.2	6.0	21.0	4.8	5.1	0.6
地域別	備前地域	484	45.2	29.5	12.4	38.8	28.5	4.5	39.9	6.6	7.6	17.1	5.0	6.6	0.8
	備中地域	392	42.1	28.6	10.2	36.2	30.1	7.1	38.8	8.4	6.6	19.9	2.8	8.2	0.3
	美作地域	88	48.9	22.7	11.4	52.3	25.0	6.8	36.4	9.1	4.5	12.5	5.7	4.5	1.1

問 2 5 あなたは、非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことは、何だと思いますか。《○は2つまで》

非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要だと思うことについて、「家庭が根気よく温かく支える」との回答が 46.9%と最も高く、次いで「周囲の大人が温かく支える」(42.7%)、「行政が関係機関との連携を強化する」(30.9%) などの順となっている。

性別にみると、「周囲の大人が温かく支える」との回答は女性(46.7%)が男性(37.7%)を9.0ポイント、「行政が関係機関との連携を強化する」との回答は女性(34.3%)が男性(25.4%)を8.9ポイント上回っている。また、「友だちが温かく支える」との回答は男性(30.5%)が女性(24.2%)を6.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「周囲の大人が温かく支える」が約3割、「相談機関の機能を強化する」が1割未満、20～24歳は「家庭が根気よく温かく支える」が約4割と低くなっている。また、30～39歳で「友だちが温かく支える」が2割台と低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要だと思うこと
(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

		全体	家庭が根気よく 温かく支える	学校が温かく 支える	周囲の大人が 温かく支える	友だちが温かく 支える	行政が関係機関と の連携を強化する	機能 相談機関の 強化する	その他	わからない	無回答
性別	令和5年度	964	46.9	7.9	42.7	26.9	30.9	15.1	4.3	6.3	0.6
	男性	393	46.8	8.7	37.7	30.5	25.4	11.2	6.6	7.6	0.8
	女性	557	46.9	7.5	46.7	24.2	34.3	18.0	2.7	5.4	0.5
	その他	10	30.0	-	30.0	20.0	60.0	20.0	-	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	53.2	4.3	29.8	31.9	25.5	6.4	2.1	10.6	-
	20～24歳	124	37.1	8.1	40.3	31.5	25.0	16.9	1.6	9.7	-
	25～29歳	158	44.9	7.6	39.2	36.1	30.4	15.8	3.2	6.3	0.6
	30～34歳	315	49.8	8.9	44.8	20.6	33.7	15.6	4.8	5.1	1.0
	35～39歳	315	47.9	7.6	45.1	25.4	31.7	14.6	5.7	5.4	0.6
地域別	備前地域	484	46.3	9.3	43.2	25.6	32.9	14.9	4.3	5.6	0.8
	備中地域	392	48.0	6.1	41.8	27.3	29.8	15.8	4.3	7.4	0.3
	美作地域	88	45.5	8.0	44.3	31.8	25.0	13.6	3.4	5.7	1.1

問 2 6 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。《○はいくつでも》

知っている薬物の害について、「自分の意志でやめるのが難しくなる」との回答が 89.5%と最も高く、次いで「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」(72.7%)、「やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある」(69.6%)などの順となっている。

性別にみると、「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」との回答は女性(77.0%)が男性(66.4%)を10.6ポイント、「自分の意志でやめるのが難しくなる」との回答は女性(91.9%)が男性(86.3%)を5.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、25～29歳は「使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる」との回答が5割と他の年齢区分に比べ低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 知っている薬物の害（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする	1回使っただけでも、死亡することがある	自分の意思でやめるのが難しくなる	薬がきれると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする	使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる	使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になるやすい	やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある	上記のいずれも知らなかった	無回答
	令和5年度	964	72.7	44.0	89.5	65.9	57.3	65.2	69.6	3.5	0.8
性別	男性	393	66.4	41.7	86.3	63.1	56.2	64.4	67.7	5.9	0.8
	女性	557	77.0	45.4	91.9	67.5	58.2	65.9	70.6	1.8	0.9
	その他	10	80.0	60.0	80.0	90.0	50.0	60.0	80.0	10.0	—
年齢別	18～19歳	47	70.2	40.4	89.4	66.0	55.3	70.2	76.6	6.4	—
	20～24歳	124	75.8	41.9	88.7	71.0	62.1	66.1	71.0	4.8	0.8
	25～29歳	158	74.7	37.3	88.6	66.5	50.0	61.4	65.2	2.5	0.6
	30～34歳	315	73.0	44.8	90.2	63.8	56.5	63.5	67.9	2.2	1.3
	35～39歳	315	70.8	48.3	89.8	65.4	60.0	67.9	71.7	4.1	0.6
地域別	備前地域	484	74.4	45.7	90.3	64.7	58.3	64.0	68.8	2.7	1.0
	備中地域	392	70.2	41.1	88.5	66.3	55.6	66.1	70.4	5.1	0.5
	美作地域	88	75.0	47.7	89.8	70.5	59.1	68.2	70.5	1.1	1.1

7 インターネットについて

問27 あなたは、インターネットを使って何をしていますか。《○はいくつでも》

インターネットで何をするかについて、「動画を見る」との回答が87.6%と最も高く、次いで「検索する」(79.8%)、「買い物をする」(75.1%)などの順となっている。

性別にみると、「投稿やメッセージ交換をする」との回答は女性(69.1%)が男性(49.6%)を19.5ポイント、「買い物をする」は女性(80.6%)が男性(67.4%)を13.2ポイント上回っている。また、「ゲームをする」は男性(62.8%)が女性(45.8%)を17.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、「投稿やメッセージ交換をする」「音楽を聴く」「ゲームをする」「勉強をする」は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備中地域は「ニュースを見る」「買い物をする」が他の地域に比べ低くなっている。また、備前地域では「地図を使う」が7割台半ばと高くなっている。

【図表 インターネットで何をするか（全体・性別・年齢別・地域別）】

		(%)														
		全体	投稿やメッセージ交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他	無回答
性別	令和5年度	964	60.9	71.3	79.8	70.4	71.1	87.6	18.5	47.9	53.0	75.1	30.6	23.2	0.9	0.7
	男性	393	49.6	70.7	75.1	66.4	70.7	88.8	19.6	45.5	62.8	67.4	36.9	19.1	0.8	0.5
	女性	557	69.1	72.2	82.9	73.4	71.5	86.7	17.8	49.7	45.8	80.6	26.4	25.9	0.7	0.9
	その他	10	40.0	50.0	80.0	50.0	60.0	80.0	10.0	40.0	60.0	70.0	30.0	30.0	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	76.6	55.3	76.6	61.7	93.6	93.6	21.3	46.8	78.7	59.6	46.8	25.5	-	-
	20～24歳	124	74.2	54.8	81.5	72.6	87.9	94.4	13.7	52.4	64.5	65.3	43.5	27.4	-	-
	25～29歳	158	69.0	65.8	80.4	68.4	77.2	88.6	13.9	48.7	57.6	79.1	27.8	27.8	-	-
	30～34歳	315	57.5	74.3	76.5	69.2	68.3	86.3	19.7	47.9	48.6	78.4	27.6	23.5	1.0	1.6
	35～39歳	315	53.0	80.6	82.9	73.0	60.6	84.8	20.6	46.3	46.7	76.2	27.6	18.7	1.6	0.6
地域別	備前地域	484	61.0	76.0	80.2	73.8	69.4	88.0	17.8	47.7	49.6	77.1	29.5	22.7	0.4	1.0
	備中地域	392	59.4	65.3	78.8	66.8	72.7	87.0	18.9	48.7	55.4	71.9	32.7	23.0	1.3	0.3
	美作地域	88	67.0	71.6	81.8	68.2	72.7	87.5	20.5	45.5	61.4	78.4	27.3	27.3	2.3	1.1

問 2 8 あなたは、授業や仕事以外の自由な時間に、1日に平均してどのくらいの時間、インターネットを使いますか。《○は①～②それぞれ1つつ》

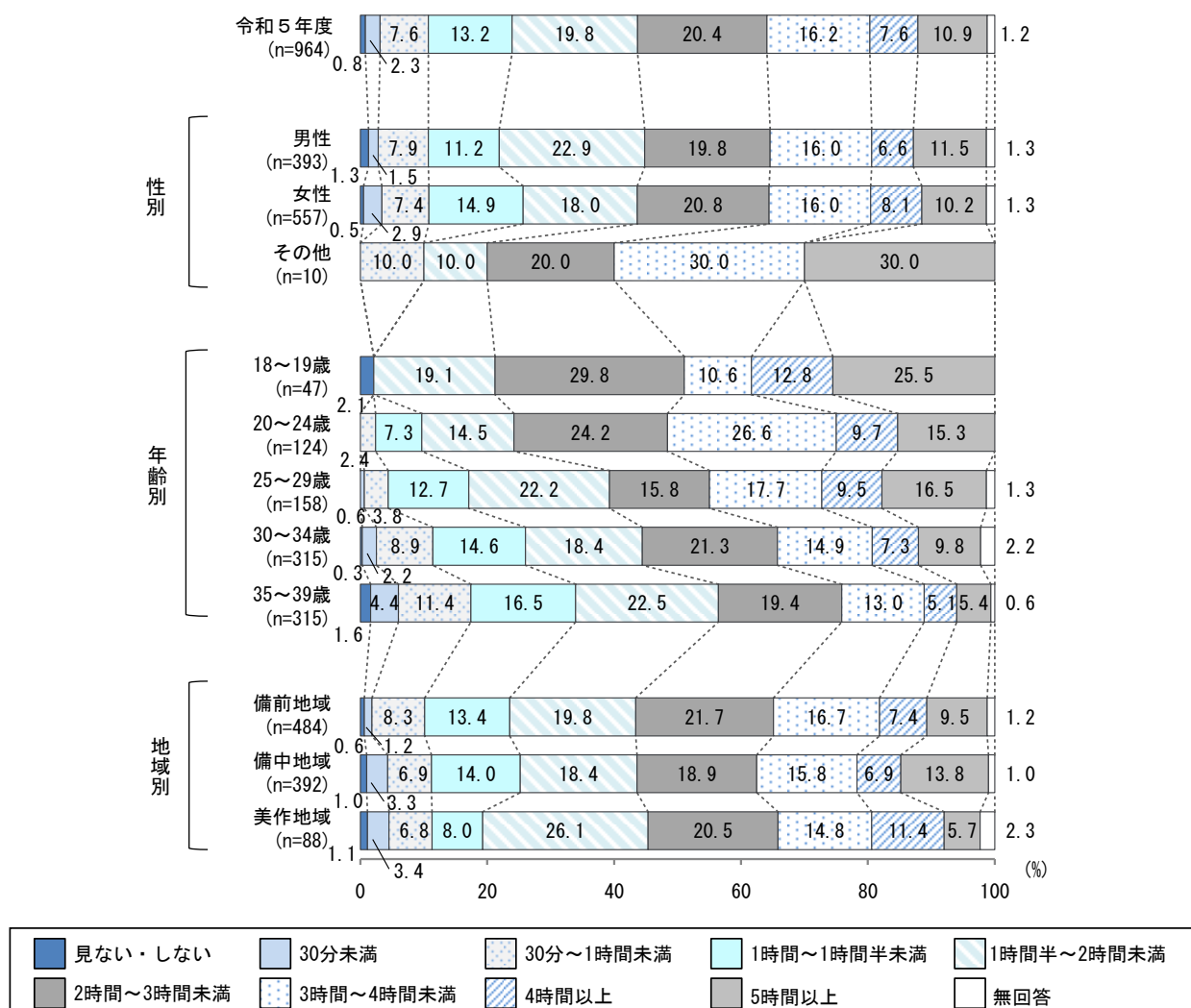
① 平日

平日のインターネット使用時間について、「2時間～3時間未満」との回答が20.4%と最も高く、次いで「1時間半～2時間未満」(19.8%)、「3時間～4時間未満」(16.2%)などの順となっている。

年齢別にみると、18～19歳は「2時間～3時間未満」「5時間以上」との回答が2割台半ばから約3割と高くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 平日のインターネット使用時間（全体・性別・年齢別・地域別）】



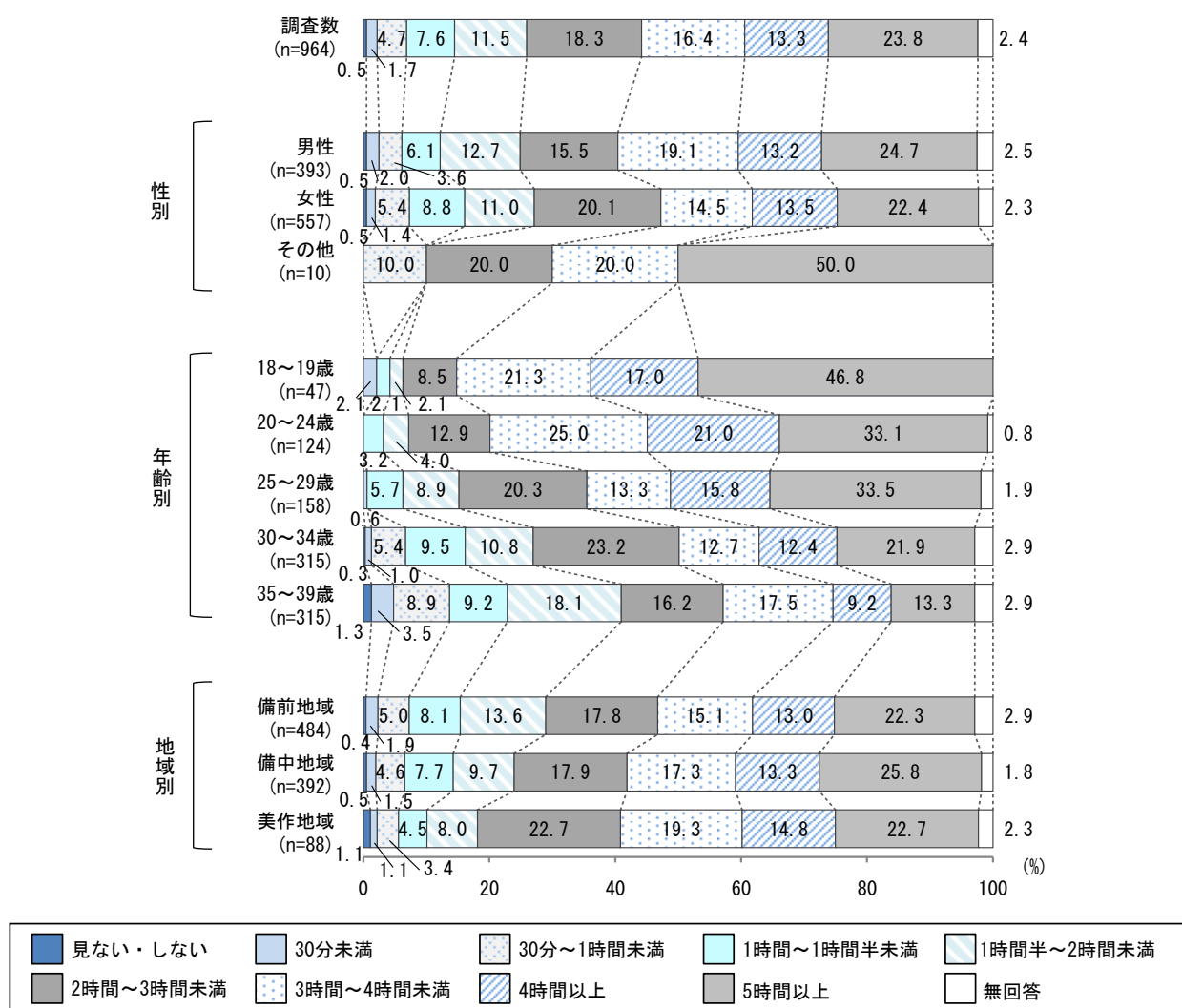
② 休日

休日のインターネット使用時間について、「5時間以上」との回答が23.8%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」(18.3%)、「3時間～4時間未満」(16.4%)などの順で、全体的に平日より長時間の使用となっている。

年齢別にみると、18～19歳で「5時間以上」が4割台半ばと高くなっている。また、2時間未満の使用は年齢が上がるにつれ増加傾向となっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 休日のインターネット使用時間（全体・性別・年齢別・地域別）】



問 2 9 あなたは、次のようなインターネットを介したトラブルに巻き込まれたことはありますか。《○はいくつでも》

インターネットを介したトラブルの経験について、「身に覚えのない料金の請求が来た」との回答が 20.3%と最も高く、次いで「あやしいメールに返信してしまい、その後何度も迷惑メールが来た」(7.0%)、「インターネット上で口論になった」(6.8%)などの順となっている。

性別にみると、「身に覚えのない料金の請求が来た」との回答は男性(23.4%)が女性(18.3%)を 5.1 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「身に覚えのない料金の請求が来た」との回答が年齢が上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 インターネットを介したトラブルの経験(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)																	
		全体	インターネット上で、 知り合った人に会って、 怖い思いをした	インターネット上で 口論になった	返信してしまい、その後 何度も迷惑メールが来た	身に覚えのない料金の 請求が来た	ゲームで課金して、 多額の支払い請求が来た	コンピューターウイルス に感染してしまった	アクセスし、個人情報 が漏れてしまった	あやしいサイトに 中傷を受けたり、嘘の 情報を流されたりした	インターネット上で誹謗 中傷を受けたり、嘘の 情報を流されたりした	他人に見られたくない 写真や情報をインター ネット上に掲載された	画像などをアップロード して著作権侵害と 言われた	勝手に個人情報 を流された	その他	特にな い	無回 答
性別	令和5年度	964	3.2	6.8	7.0	20.3	2.6	6.2	1.7	3.5	0.7	0.2	1.8	1.5	61.4	2.4	
	男性	393	1.5	8.1	6.1	23.4	4.3	8.9	2.3	2.8	0.5	0.3	1.5	0.5	60.8	1.5	
	女性	557	4.5	5.9	7.0	18.3	1.4	4.3	1.3	3.9	0.9	0.2	2.0	2.0	62.1	3.1	
	その他	10	-	-	20.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0	60.0	-
年齢別	18～19歳	47	-	2.1	-	6.4	-	4.3	-	-	-	-	-	-	-	87.2	-
	20～24歳	124	4.0	6.5	5.6	8.1	1.6	3.2	-	2.4	2.4	-	1.6	0.8	74.2	2.4	
	25～29歳	158	3.2	10.1	6.3	16.5	4.4	7.0	1.9	4.4	1.3	0.6	1.9	1.9	61.4	1.3	
	30～34歳	315	4.4	6.7	7.9	24.4	2.9	6.3	1.3	5.4	0.3	-	2.2	1.6	56.5	3.5	
	35～39歳	315	2.2	6.3	7.6	25.1	2.2	7.3	2.9	2.2	0.3	0.3	1.6	1.6	57.5	2.2	
地域別	備前地域	484	2.9	7.4	7.2	21.3	3.1	5.6	2.1	3.7	0.8	-	1.7	1.7	59.9	3.3	
	備中地域	392	3.8	6.1	7.4	19.1	2.6	6.6	1.3	3.6	0.8	0.5	1.8	1.5	63.3	1.0	
	美作地域	88	2.3	6.8	3.4	20.5	-	8.0	1.1	2.3	-	-	2.3	-	61.4	3.4	

8 地域の安全・安心について

問30 あなたは、地域の子どもの安全を守るために、どのような活動をしていますか。

《〇はいくつでも》

安全を守るためにしている活動について、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答が7.6%と最も高く、次いで「子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りをしている」(5.3%)、「PTAの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている」(2.4%)などの順となっている。また「特に何もしていない」との回答は86.0%となっている。

年齢別にみると、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 安全を守るためにしている活動（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

		全体	パトロール隊の活動に参加している	不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている	PTAの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている	子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りをしている	地域で見慣れない人には、積極的に声をかけをおこなっている	特に何もしていない	無回答
	令和5年度	964	1.1	7.6	2.4	5.3	1.2	86.0	0.8
性別	男性	393	1.5	3.6	1.3	4.3	1.3	89.6	0.8
	女性	557	0.9	10.4	3.2	6.1	1.3	83.3	0.9
	その他	10	-	10.0	-	-	-	90.0	-
年齢別	18～19歳	47	-	-	-	2.1	-	97.9	-
	20～24歳	124	-	3.2	0.8	0.8	2.4	91.1	1.6
	25～29歳	158	2.5	4.4	2.5	3.8	0.6	91.8	0.6
	30～34歳	315	0.3	6.0	2.5	4.4	1.0	87.3	1.0
	35～39歳	315	1.9	13.7	3.2	9.2	1.6	77.8	0.6
地域別	備前地域	484	1.2	8.1	2.3	6.0	1.4	85.1	0.6
	備中地域	392	1.0	6.6	2.3	5.4	1.3	87.0	1.0
	美作地域	88	1.1	9.1	3.4	1.1	-	86.4	1.1

問3 1 あなたは、地域の子どもの安全を守るために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。《○は3つまで》

安全を守るために力を入れるべきだと思うことについて、「防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備」との回答が39.7%と最も高く、次いで「警察や行政によるパトロール活動の強化」(38.1%)、「学校の不審者侵入を防止する対策の徹底」(27.0%)などの順となっている。

性別にみると、「地域住民による通学路等のパトロール活動」との回答は女性(27.3%)が男性(19.8%)を7.5ポイント、「警察や行政によるパトロール活動の強化」との回答は男性(41.0%)が女性(35.7%)を5.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、「防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。また、18～19歳は「通学路等の危険個所の点検や安全マップの作成」との回答が1割未満と低くなっている。

地域別にみると、備前地域は「警察や行政によるパトロール活動の強化」との回答が4割超と高くなっている。

【図表 安全を守るために力を入れるべきだと思うこと(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

		全体	学校の不審者侵入を防止する対策の徹底	地域住民による学校内の見回り	対象の防犯教室、訓練の徹底	学校での子どもつきそい	教職員やPTAによる登下校の活動	地域住民による通学路等の危険個所の点検や安全マップの作成	通学路等の危険個所の点検や安全マップの作成	運行やタクシーによる下校の実施	スクールバスの設備の整備	防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備	子ども110番の家やかきこみ	子ども110番の強化	警察や行政によるパトロール活動の強化	学校や警察等からの不審者情報の提供	町内会等における研修会や啓発活動	住民同士の連帯意識の向上	その他	無回答
	令和5年度	964	27.0	8.6	25.7	15.1	24.4	16.1	12.0	39.7	17.9	38.1	17.8	2.1	16.5	2.7	2.6			
性別	男性	393	28.8	9.9	23.7	13.5	19.8	17.0	13.0	37.9	16.0	41.0	16.5	2.3	17.3	3.3	3.1			
	女性	557	26.0	7.7	27.6	16.7	27.3	15.3	11.1	41.5	19.0	35.7	19.0	2.0	15.8	2.0	2.3			
	その他	10	-	-	10.0	-	20.0	30.0	20.0	30.0	30.0	50.0	10.0	-	20.0	20.0	-			
年齢別	18～19歳	47	34.0	12.8	21.3	12.8	27.7	4.3	6.4	29.8	34.0	34.0	21.3	6.4	8.5	2.1	2.1			
	20～24歳	124	25.8	10.5	25.8	14.5	21.0	17.7	10.5	38.7	22.6	37.9	13.7	1.6	11.3	0.8	3.2			
	25～29歳	158	24.1	10.1	35.4	13.9	21.5	18.4	7.6	39.2	20.9	28.5	16.5	3.2	14.6	3.2	1.9			
	30～34歳	315	26.0	6.3	21.9	12.7	26.0	13.0	17.5	40.0	13.0	44.8	19.7	1.9	18.4	3.8	1.9			
	35～39歳	315	28.6	8.3	25.4	18.4	24.8	19.0	10.2	41.9	17.1	37.1	17.8	1.0	18.1	2.2	3.2			
地域別	備前地域	484	28.1	8.5	25.6	15.3	22.7	15.3	13.6	41.5	18.4	41.5	18.0	1.7	15.5	2.9	1.4			
	備中地域	392	26.3	9.7	26.5	13.8	23.0	17.9	9.4	38.5	16.3	35.7	18.6	2.0	17.3	2.6	3.8			
	美作地域	88	23.9	4.5	22.7	20.5	39.8	12.5	14.8	35.2	22.7	29.5	13.6	4.5	18.2	2.3	3.4			

9 「ヤングケアラー」という言葉の認知について

問32 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。《○は1つ》

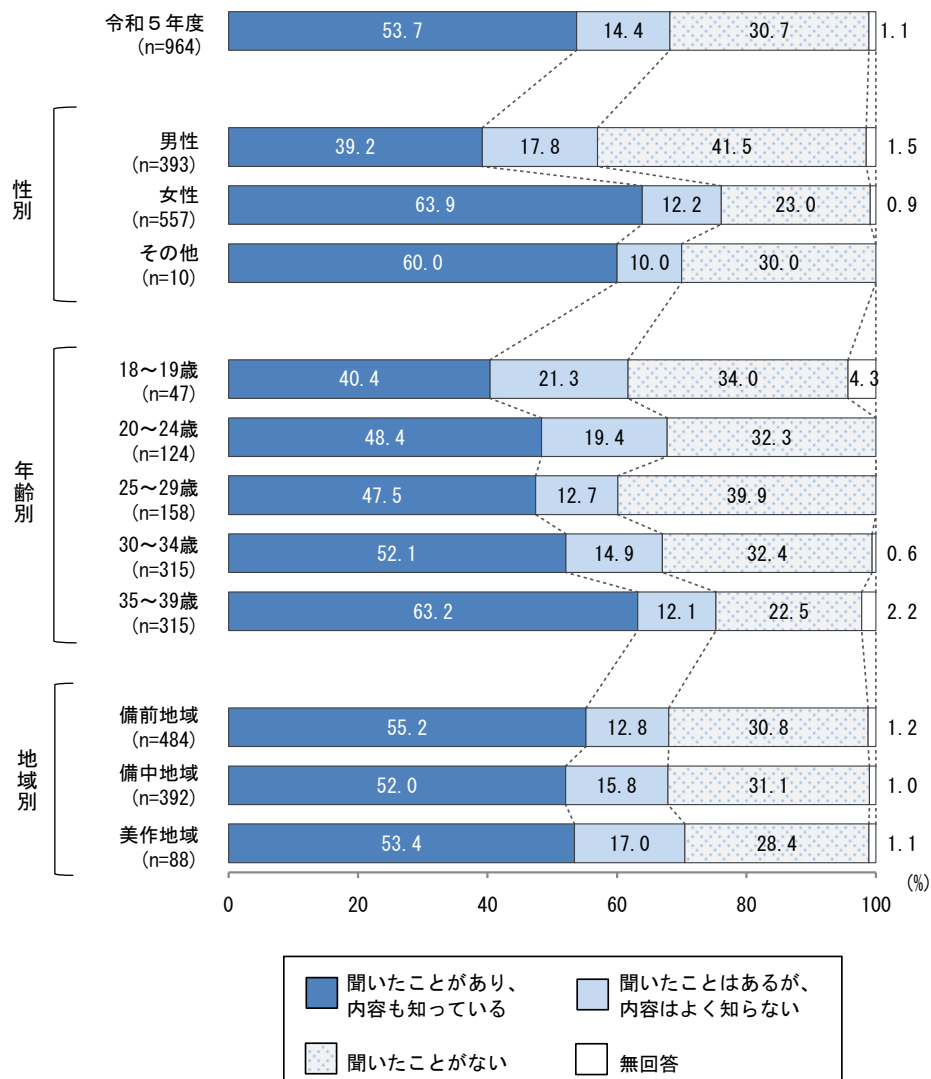
「ヤングケアラー」という言葉の認知について、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答が53.7%と最も高く、次いで「聞いたことがない」(30.7%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(14.4%)の順となっている。

性別にみると、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答は女性が6割台半ばで、男性を大きく上回っている。

年齢別にみると、35～39歳は「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答が6割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（全体・性別・年齢別・地域別）】



(問32で「1～2」に○がついた人だけお答えください。)

問32-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。《○はいくつでも》

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについて、「テレビや新聞、ラジオ」との回答が73.7%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」(44.1%)の順となっている。

性別にみると、「SNSやインターネット」との回答は女性(46.0%)が男性(40.2%)を5.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「学校」との回答が最も高く、20歳以上の年齢区分はいずれも「テレビや新聞、ラジオ」との回答が最も高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

		全体	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSや インターネット	ポスターなどの 掲示物	広報やチラシ、 イベントや交流会など	学校	友人・知人から聞いた	家族から聞いた	その他	無回答
性別	令和5年度	657	73.7	8.2	44.1	5.6	1.8	9.7	2.3	3.3	2.3	0.3
	男性	224	71.9	9.8	40.2	8.5	2.7	11.2	3.6	3.6	3.1	—
	女性	424	74.5	7.5	46.0	4.2	1.2	9.2	1.7	3.3	1.9	0.5
	その他	7	71.4	—	42.9	—	14.3	—	—	—	—	—
年齢別	18～19歳	29	41.4	6.9	31.0	6.9	6.9	58.6	10.3	10.3	—	—
	20～24歳	84	72.6	4.8	42.9	4.8	1.2	21.4	—	8.3	—	1.2
	25～29歳	95	66.3	8.4	55.8	5.3	2.1	9.5	4.2	5.3	4.2	1.1
	30～34歳	211	75.4	10.4	43.6	6.2	1.9	5.2	3.3	0.5	2.4	—
	35～39歳	237	79.3	7.6	42.2	5.5	1.3	3.8	0.4	2.5	2.5	—
地域別	備前地域	329	73.9	8.8	46.2	6.4	1.2	10.0	1.5	3.0	2.4	—
	備中地域	266	72.6	7.1	42.1	4.9	1.9	9.8	2.6	3.0	2.3	0.8
	美作地域	62	77.4	9.7	41.9	4.8	4.8	8.1	4.8	6.5	1.6	—

10 自由意見

問33 青少年の健全育成に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

全体では114件のご意見・ご要望が寄せられた。区分別では、「地域社会について」が44件と最も多く、次いで「学校、教育について」(39件)、「その他」(26件)などの順となっている。

備前地域、備中地域の青年では、「地域社会について」、「学校、教育について」が多くなっている。

美作地域の青年では、「地域社会について」、「その他」が多くなっている。

【青年（自由記述分類表）】

分類	合計	備前地域	備中地域	美作地域
学校、教育について	39	21	15	3
安全・安心について	15	7	7	1
地域社会について	44	22	18	4
スマホ、インターネットについて	5	4	1	0
家庭生活について	19	10	7	2
大人の反省点について	8	4	3	1
保護者支援、子育て支援について	9	5	4	0
青少年へのより良い指導について	15	9	5	1
その他	26	12	10	4
合計		55	50	9

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容件数は一致しない。

<問 33 の主な自由意見>

(1) 学校、教育について

内容	地域別
教員の負担が大きすぎる。学校では教科の学習を主とし、その他の教育は家庭や地域、学校以外の行政が担うべき。学校に警察や弁護士を配置して、いじめや非行に対応してほしい。	備前地域
家庭での関わり方も大切です。でも、友人と付き合っていくことで成長し、性格なども変わってきます。友人とどのように付き合っていくかでも、大きく変わってくると思います。	備前地域
相談場所の充実。身近な場所に心理職との繋がりがほしい。	備前地域
学校の先生の質をあげてほしい。私の地域の先生達は頼れない方ばかりで困っている。先生が病気で学校を休んでいると、子ども達のトラブルに対応できない。	備前地域
学校側と保護者側のコミュニケーションの充実。	備中地域
各学校に生理用品の配置をしてほしい。	備中地域
自宅近くに高校があるのですが、迷惑行為をしたり交通マナーを守らない生徒がいるので、学校でマナーの教育もしてほしい。	備中地域
学校の安全を守るために学校、幼稚園、保育園等に警備員を配置してほしい。	備中地域
学校や社会人等でつまづいて休んでも、色々な所で人は生きていける、目の前の事だけが世界ではないという事も子ども達に教えていきたい。	美作地域

(2) 安全、安心について

内容	地域別
高齢化社会が進む中、子どもの未来を安全で確実なものにしてほしい。	備前地域
地域の子どもの安全確保のために見守り等を行うことが可能な大人は少ない。そのため、ドローンの活用や防犯カメラの増設が良いのではと思います。もしくは、警察だけでなく警備会社にお金を払って見回りをしてもらいたいのもいいのではと思います。	備前地域
スマホを見ながら自転車で通学する生徒が多い。数回ぶつかった事があるが、次の日もスマホを操作しながら自転車に乗っている。警察が本気で取り締まりをしないと、いつか大きな事故が起こる。	備前地域
子どもの登下校が心配です。細い路地を猛スピードの車が走行したり、集団で登下校していても、安全に登下校できるか不安に感じる場面が結構あります。安全な集合場所や付き添いの仕組み、通学路の整備などが進むといいなと思います。	備中地域
ゲームセンターや飲食店への夜間パトロール。登下校時の危険箇所の見回り。	備中地域
環境整備ができてない。街灯やガードレール、舗装路など。子どもが外で遊ばない理由の一つに外の安全性が確保されてないからと思う。	備中地域

内容	地域別
地域の子どもの安全のためにも、防犯灯や防犯カメラは無理のない範囲で設置した方がいいと思う。	備中地域

(3) 地域社会について

内容	地域別
社会での繋がりが大切です。孤立状態やひきこもり状態にならないように、地域のイベントを増やすなどして、近所付き合いを行うことが必要かと思います。	備前地域
行政機関が積極的に各家庭に関わってほしい。ボランティア等も大切だが、自治体に関わっていける場を提供してほしい。	備前地域
青少年の心を育むという観点では、幼少期の頃に様々な経験を積むことが大切だと思います。私の生まれ育った地域では、クリスマス会があったり、旅行に行ったりとご近所との繋がりが多くありました。ご近所の方々との交流は大切だと思います。	備前地域
健全育成のためには、仲間や友達づくりができる場所や機会をつくることが大切だと思います。	備前地域
ヤングケアラーは声をあげることも誰かに頼ることもできない状態に陥りやすいので、それを救い上げるシステムがほしい。青少年の健全育成のために、教員やPTAに負担をかけるのも難しく、地域ボランティアに頼り切るのもどうかと思う。できれば行政から少額でもいいので予算をあてて、有償ボランティア等ができないか考えてもらいたい。	備前地域
県内中心部だけでなく、県内全体にボランティアの場を拡大していただければ幸いです。	備中地域
子どもたちが幸せに過ごせる環境のために、親が食事で困った時に相談できる場所や、コミュニティーフリッジのような公共冷蔵庫をもっと増加してもらえることを願います。	備中地域
若い世代及び子どもの数が減っている。自治体は子どもが増えるための案を出すべき。育成は大切だが、そのための環境が整っていないので、まず環境を整えてほしい。	備中地域
自分の住んでいる地域がどのような活動をしているか知るためのイベントや授業をしたらいいと思います。	備中地域
昔より地域に関わる機会が減っているように思います。若い人たちはその時には必要性を感じないかもしれないけれど、若いうちから地域と関わり続ける機会があればいいと思います。	美作地域

(4) スマホ、インターネットについて

内容	地域別
元気に育ってくれたらと思うが、インターネットとなると守り方も難しい。例題として怖い体験は小さい頃から知っている意識は高まるかもしれない。	備前地域
インターネットの利用が問題視されるかもしれないが、核家族で子育てしていると動画に頼らざるをえないし、インターネットを避けて生活できない時代になっている。動画サービスは些細な要求をすぐに満たしてくれるので、便利な反面、我慢のできない子どもになるのではないかと不安も正直ある。インターネットとの上手な付き合い方は家庭でも学校でも教えていく必要がある。	備前地域
今はネット社会で小学生でもスマホを持っている時代で、連絡手段や子供の安全を守るために持たせている家庭もあると思います。ですが、スマホを持っていない子どもが友達からいじめや仲間外れをされる事があったり、SNSで悪口などを書かれたりする事もあります。スマホを持つとは言えないので、いじめに繋がることのないよう、ルールづくりが必要だと思います。	備中地域

(5) 家庭生活について

内容	地域別
核家族やひとり親世帯の増加による子どもへの愛情不足、コミュニケーション不足が心配だ。また、早いうちから子どもへスマホを与えることによる、ブルーライトの悪影響を感じる。	備前地域
家庭での温かい支えが一番大切だと思います。	備中地域
仕事で家庭や地域に関わる時間が少ない。親が家庭と関わる時間が増えると、育児などで時間が取れるし、夫婦の時間が取れる。未婚者でも恋人探しなどの時間が取れ、将来的に少子化対策になる。うわべだけの働き方改革を直してほしい。	美作地域

(6) 大人の反省点について

内容	地域別
大人が良くないと、子供に対してお手本にはならないと思うので、基本的な挨拶、相手の思いを尊重すること、笑顔で話すこと等を見せていくことも大切だと思います。	備前地域
子どもの問題を抱える保護者に対して、支援を出来ればと思う。	備中地域
子どものことを学校や保育園に丸投げ状態の家庭が増えている気がする。家庭での教育や困りごとについて外部機関と連携したり、相談できる環境づくりが必要だと感じます。	美作地域

(7) 保護者支援、子育て支援について

内容	地域別
少子化対策をしないと税収が減り行政運営自体が崩壊する。子どもを産みやすく育てやすい県や市にする必要がある。そのために、子育て世代に対し手厚い支援策を求める。	備前地域
子育て世帯へのアプローチやサポートが充実してくれると、子どもに割くことの出来る時間やお金が増えて、幸福度が増すのではないかと思います。少子化の日本において、地域で子どもを育てるという文化が消失している地域も多いと思います。孤立しやすく孤独を感じやすい環境を改善することも、出来たらいいなと思います。	備前地域
ヤングケアラーの子ども達が、自分が進みたい進路や生活を送ることができるよう、お金や生活面の制度を充実させること。	備中地域

(8) 青少年へのより良い指導について

内容	地域別
子どもは大人を見て育つし、環境によって変わると思います。この世に産まれた時は誰もが同じですが、育っていく環境の中で人格形成されていくし、その過程で会う人によっても大きく左右されると思います。少しでも笑顔あふれる世の中になってほしいと思っています。	備前地域
子どものうちから自己肯定感をしっかり持つことで、非行に走ることも少なくなると思います。そのためには周りの大人が気をかけ、声をかけ、いろいろな体験の機会を用意することが重要と考えます。	備前地域
他人と関わることを嫌う人が増えているように思います。未来に希望がもてないことも問題だと思います。	備前地域
各都道府県警に設置されている学生協助員の活動は非常に効果的・有意義な取り組みだと思う。	備前地域
大人も子どももみんなで腹を割って話をするのも楽しそうだし、色々なことが学べるなと思います。	備中地域